

北海道議会時報

平成3年第3回定例会
企業会計決算特別委員会(2年度決算)



北海道議会事務局

北海道議会時報第43巻第4号(平成3年第3回定例会)

(表紙写真説明)

タンチョウ立体凧揚げ(鶴居村)

このタンチョウ立体凧は、昭和62年の開村50周年に向け、昭和61年から製作をはじめた。当初、役場職員や農協職員が設計者を講師として6体の製作からスタートし、現在は、経験者が講師となって年間10体程製作、毎年1月末の「タンチョウフェスティバル」において、その勇姿を披露するほか、各種のイベントにも、各自持ちよって楽しんでいる。

昨年は、愛媛県において開かれた「国民文化祭」の世界凧揚げ大会にも出場し、少しずつアピールを行っており、今後は、夢は大きく、村に飛来するタンチョウの数より多く、世界の空に羽ばたけと祈り、また、この凧を起爆剤として、その他の凧も含めての「タコ揚げ」復活を夢みている。

なお、この立体凧は、設計者である新潟県人から鶴居村だけで製作する事を特に許可されたものである。

(鶴居村教育委員会提供—撮影者柴田菊雄氏)

第3回定例会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	14
決 議 案	17
意 見 案	17
請 願・陳 情	21

委員会の動き

議会運営委員会	24
常任委員会	28
特別委員会	35
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
道管競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会（2年度決算）	

会 合

全国都道府県議会議長会	50
10都道府県議会議長会	51
北海道・東北6県議会議長会	51

そ の 他

北海道議会開設90年記念式典・祝賀会	52
--------------------	----

8・9・10月のメモ

議 会 日 誌

▶ 8 月

6 日 (火) 各常任、過疎地域振興対策特別各委員会

27 日 (火) }
28 日 (水) } 企業会計決算特別委員会
29 日 (木) }
30 日 (金) }

▶ 9 月

2 日 (月) エネルギー問題調査特別委員会

3 日 (火) 各常任委員会

11 日 (水) 議会運営委員会

24 日 (火) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会

25 日 (水) (第 3 回定例会開会)
議会運営委員会
本会議 (会期決定<24日間>、提案説明、意見案 2 件可決)

27 日 (金) 企業会計決算特別委員会

▶ 10 月

1 日 (火) 議会運営委員会
本会議 (前会より継続審査中の平成 2 年度企業会計決算認定、代表質問 < 2 人 >)

2 日 (水) 議会運営、石炭対策特別各委員会
本会議 (日程延期)

3 日 (木) 議会運営委員会
本会議 (日程延期)

4 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (代表質問 < 1 人 >)

7 日 (月) 議会運営、文教各委員会
本会議 (代表質問 < 1 人 >、一般質問 < 2 人 >)

8 日 (火) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 < 7 人 >)

9 日 (水) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 < 3 人 >)

11 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 < 3 人 >、予算特別委員会設置)
予算特別委員会 (正副委員長の互選、予算第 1・第 2 各分科会設置)
予算第 1・第 2 各分科会 (正副委員長の互選)

14 日 (月) }
15 日 (火) } 予算第 1・第 2 分科会 (各部所管審査)
16 日 (水) }

17 日 (木) 予算第 2 分科会 (各部所管審査)

18 日 (金) 議会運営委員会

本会議 (会期延長 < 1 日間 >)
予算第 2 分科会 (各部所管審査)

19 日 (土) 議会運営委員会

本会議 (会期延長 < 3 日間 >)
予算第 2 分科会 (各部所管審査)

22 日 (火) 議会運営委員会

本会議 (会期延長 < 1 日間 >)
予算第 2 分科会 (各部所管審査)

23 日 (水) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別各委員会
予算第 2 分科会 (各部所管審査)
予算特別委員会 (総括質疑、意見調整)

本会議 (各委員長報告、提案説明、補正予算案等可決、公安委員会・方面公安委員会委員、収用委員会委員並びに公害審査会委員 選任同意、決議案 2 件可決<決議案第 2 号・道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置に関する決議>、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員選任、意見案 3 件可決)
道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会

(第 3 回定例会閉会)

第3回定例会

道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置

概 要

- ① 平成3年度各会計補正予算等を審議する第3回定例会は、9月28日招集され、会期を10月18日まで24日間と決定の後、総額452億6,500万円余の平成3年度各会計補正予算等の議案28件が上程され、知事から提案説明。

次に、畑作経営の安定に関する要望意見案ほか1件の要望意見案を原案可決の後、議案調査のため、9月26日から9月30日まで休会することに決定した。

- ② 休会あけの10月1日は、前会より継続審査の平成2年度各事業会計決算について、企業会計決算特別副委員長から報告の後、討論、採決の結果、意見を付し認定議決及び認定議決した。引き続き、代表質問に入ったが、吉川貴盛議員（自民）のリゾート開発、場外馬券場開設問題等に係る答弁準備のため審議が中断した。

10月4日に知事及び教育長から答弁があり、審議が再開され、10月7日に代表質問を終結。引き続き一般質問に入り、11日に終結し、予算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、付託議案審査のため、10月14日から17日まで休会とすることに決定した。

- ③ 予算特別委員会は、10月11日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、14日から平成3年度各会計補正予算等に対する各部所管審査に入り、第1分科会は16日に質疑を終結したが、第2分科会は、道営競馬札幌場外馬券場開設問題に関連し、参考人の出席を求める措置要求があり、この取り扱いをめぐって審議が中断、22日に至り、予算特別委員長から場外馬券場問題については会期中に処理することは困難であることから、議長に対し措置の申し出があり、同日夜、議長措置が行われたことから、審議が再開され、23日に第2分科会の質疑を終結。各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、質疑終結後、付託案件に対する意見調整の後、採決の結果、いずれも原案可決と決定した。

- ④ 本会議再開日の10月18日は、道営競馬場外発売所問題についての各派間の話し合いがまとまらず、会期を19日まで1日間延長したが、19日には、更に会期を22日まで3日間再延長（10月21日は、道議会開設90年記念式のため休会）、22日限り、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会を設置することで意見の調整が図られたが、同日中に議了することは困難なことから、会期を更に23日まで1日間延長した。

- ⑤ 会期最終日の10月23日は、平成3年度各会計補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、教育委員会委員など4件の人事案件について、知事から提案説明の後、いずれも同意議決。

次に、リゾートの乱開発を抑制する決議案を原案可決し、引き続き、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置に関する決議案を原案可決し、委員の選任を行った。

次に、雲仙・普賢岳噴火災害対策についての要望意見案ほか2件の要望意見案を原案可決の後、

閉会申請願・陳情継続審査及び所管事務継続調査の件を決定、議長から閉会のあいさつがあって、開会以来29日目の10月23日午後4時56分閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況					
		原案可決	同意議決	認定議決	意見を付し 認定議決	報告のみ	計
知事	33	28	4	(3)	(3)	1	33 (6)
議員	7	7	—	—	—	—	7
計	40	35	4	(3)	(3)	1	40 (6)

注（ ）内は、継続審査に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

基本的視点と抱負、環日本海圏諸国との交流についての基本的考え、環日本海圏諸国とのネットワークづくりについての見解、ソ連極東地域との航空路開設についての取り組み姿勢



○9月25日（水） 午前10時17分開議、若狭靖議長、平成3年第3回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から10月18日までの24日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第28号を議題とし、知事から提出案件について説明。

日程第4 意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、いずれも異議なく原案のとおり可決の後、議案調査のため、9月26日から9月30日まで休会することに決定して、午前10時27分散会。

○10月1日（火） 午前10時18分開議、諸般の報告の後、

日程第1 前会より継続審査の報告第26号ないし第31号を議題とし、企業会計決算特別委員長から、平成2年度北海道各事業会計決算にかかわる審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、報告第26号、第27号及び第29号ないし第31号に関する反対討論、報告第28号に関する賛成討論があって、討論終結。

採決に入り、日程第1のうち、報告第26号、第27号及び第29号ないし第31号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり、報告第26号、第27号及び第31号は、意見を付し認定議決、報告第29号及び第30号は、認定議決。次に、日程第1のうち報告第28号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり認定議決。次いで、

日程第2 議案第1号ないし第28号を議題とし、代表質問に入り、

佐藤 寛一議員（社会）から、

① 国際交流に関し、政変後の新たなソビエト情勢のもとでの自治体外交展開の考え方、領土問題解決の使節としての訪ソに当たっての

② ホッカイドウ競馬の札幌場外発売所開設問題に関し、今回の断念となった結果の受け止めと今後の札幌市内での計画推進についての対処の考え方

③ 環境問題に関し、地球環境年に向けた自然環境保全対策についての取り組み、ラムサール条約の登録湿地指定についての見解、ラムサール条約締約国会議に向けた取り組み方

④ リゾート問題とそれにかかわる行政のあり方に関し、地方公社のあり方の検討と指針の補完及び市町村指導の強化の考え、庁内体制強化の考え

⑤ 産業廃棄物の処理計画に関し、昭和63年度に策定した指導指針を第3次処理計画に導入する考えと見解、資源リサイクルについての研究開発の取り組み、廃棄物処理センターの設置について第3次処理計画に取り上げる考え方

⑥ 産業問題に関し、工業技術力のワンランクアップのこれまでの取り組みと今後の展開、技術開発支援機能の強化についての基本的考え方と今後の取り組み方針、工業技術指導センターについての認識と今後の対処の考え、自動車関連工業育成協議会の今後の進め方、道立農業試験場について研究ニーズの把握や機能改善、園芸作物にかかわる試験研究体制の整備、情報機能整備についての所見

⑦ 韓国漁船問題に関し、現状把握と今後の対応の考え方、今回の訪韓における韓国側の反応の受け止め、政府に対するこれまでの働きかけと二百海里法適用を基本とした日韓漁業関係改善に向けての今後の働きかけの考え方

⑧ アイヌ民族問題に関し、国際先住民年に向けた取り組みの進め方、アイヌ民族文化研究センターの構想と設置の見通し

⑨ 教育問題に関し、40人学級早期実現に向けてのこれまでの取り組みと今後の取り組み、

40人学級を視野に入れた学級編制についての所見、小規模校の間口減と一間口校についての所見、主任制問題について労使で確認の4・6合意を基本とした実施に向けての決意

⑩ 公安問題に関し、本道公安行政の運営に当たっての基本的考え方と当面する課題に対する取り組み姿勢、警察に対する道民の信頼を高めることについての見解等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により午前11時54分休憩、午後1時25分再開。



吉川 貴盛議員（自民）

から、

- ① リゾート開発に関する知事の対応に関し、本道におけるリゾート開発の現状認識とこれまでの対応、開発指針の効果の認識、リゾート開発実態の点検と調整についての所見、戦略プロジェクトのリゾート連担都市構想推進の考え方、リゾート開発を中心とした地域プロジェクトの推進についての見解、リゾート開発見直しについての所見
- ② 北海道新幹線の建設促進に関し、政府予算に計上された整備新幹線建設推進準備事業費の北海道関連調査の認識、来年度予算編成へ向けての要求姿勢、準備費の北海道分枠を確定させるための対応
- ③ 道営競馬の場外馬券場問題に関し、開設を断念するに至った理由と札幌市及び関係者に対する説明・了解の有無、最高責任者としての責任に関する認識、候補地が薄野地区に絞られた経緯、反対派の説得に仲介役を依頼したことについての見解と前札幌地区労議長をこの人物との仲介に依頼した理由、金銭の授受の事実とその金の性格、副知事などが署名押印した文書の内容と渡さなければならなかった理由、反対派説得に取りざたされる人物と知事自身とのかかわり、損害賠償問題が発生した場合の受け止め、新たな構想における場外馬券場建設の考え
- ④ 財団法人北海道住宅協会の不祥事件に関し、業務の執行状況や真相究明の実施状況と結果、住宅協会の対応措置に対する見解、道の責任についての所見、住宅協会の執行体制

の改善と指導についての今後の対応

- ⑤ 北方領土返還促進に関し、政変以降交渉相手方がロシア共和国に変わったことについての受け止めと運動の進め方、北方領土居住者の反対意見についての認識
- ⑥ 国連平和維持活動への自衛隊の参加問題に関し、自衛隊の緊急医療支援訓練視察の印象、自衛隊の存在と国内・国際的に果たす役割についての認識、国会で審議中の国連平和維持活動についての所見
- ⑦ 地域福祉の推進に関し、地域住民のニーズの把握と地域福祉対策の展開、ノーマライゼーション理念の定着やボランティア活動の振興に近年特に力を入れてきた対策、社会福祉施設の整備の取り組みについての見解
- ⑧ 資源エネルギーの安定供給対策に関し、エネルギー需給動向の認識、道の資料による昭和59年度から平成元年度までの増加分の内訳とこの需要に対する供給源別供給量の新計画との対比、国が決定した地球温暖化防止行動計画の受け止め、地域エネルギー開発推進についてのこれまでの取り組みと成果、サハリン天然ガス導入について北海道天然ガス導入促進委員会の調査の受け止めと今後の取り組み
- ⑨ 高齢者などに対するケアつき住宅の供給と福祉のまちづくりに関し、大麻サンゴールドヴィラモデル団地の構想策定に当たっての調査の状況と結果の受け止め、構想への反映と計画推進のスケジュール、施設の地域展開の所見、公約の福祉のまちづくりについて推進の内容と国の制定との相違点、具体的推進方法、都市の高齢者や身障者に限定した理由
- ⑩ 道民の森に関し、植樹祭・育樹祭などイベントの開催についての所見
- ⑪ 教育問題に関し、平成4年度の公立高等学校適正配置計画について将来廃校が出来ることについての見解、40人学級を目指す存続案の受け止め、高等学校教育の将来ビジョンについての認識とこれに基づく適正配置の長期計画策定についての見解、人件費・運営費の道費負担についての見解、主任制問題について主任手当返還が北教組の闘争手段に使われていることについての認識と返還金の取り扱

い、北教組が行った4・6合意を認めさせるための公開質問状に対する回答の受け止め、新任教務主任研修会の実施時期と研修会の名称についての見解

- ⑩ 公安問題に関し、北海道における暴力団の現状の認識、暴力団の資金調達の実態とその対策、実態調査実施についての所見、けん銃などの摘発状況と対策、暴力団特命捜査隊の活動内容と実績・成果の認識等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後3時22分休憩、午後4時35分再開し、本日の会議は、議事の都合により延会することに決定して、午後4時36分延会。

企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の平成2年度北海道各事業会計決算にかかわる報告第26号ないし第31号の6件につき、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、第2回定例会の7月18日に設置され、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定した次第であります。

その後、7月24日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、本件を閉会中継続審査に付するとともに、8月7日、8日の両日には、関係事業についての現地視察を行い、また、審査に必要な37項目の資料の提出を受け、決算内容の調査を行ったところであります。

次いで、8月27日から関係部局所管の審査に入り、9月27日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、関係部局ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

林務部所管におきましては、

道有林野事業の経営の実態及び道有林野経営の健全化等に係る問題。

保健環境部所管におきましては、

道立病院事業の経営改善及び再編整備等に係る問題。

企業局所管におきましては、

企業局の経営のあり方、電気事業、工業用水道事業の経営状況及び工業団地開発事業に係る用地売却等の問題。

住宅都市部所管におきましては、

北広島団地開発事業会計閉鎖及び北広島団地の地域暖房に係る諸問題。

などでありまして、その内容につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知願いたいと存じます。

次に、質疑終結後、各会派代表者間において意見の調整を図ってまいりました結果、9月27日の委員会におきまして、全会一致、報告第28号ないし第30号については認定議決、報告第26号、第27号及び第31号につきましては、次に申し上げる意見、すなわち、

報告第26号については、

1. 「道立病院の再編整備と経営健全化の方策」の年度別計画について早急に中間見直しを行うとともに、その着実な推進に努め、収益の確保と費用の節減など道立病院の経営の改善にさらに努力すべきである。

なお、道立病院の移管・移譲については、早期に実現を期すよう努力すべきである。

報告第27号については、

1. 森林資源の充実と公益的機能の増進を図るため、「道有林野経営改善方針」に沿って「道有林基本計画」を早急に策定し、経営改善の着実な推進に努めるべきである。

報告第31号については、

1. 住宅団地については、「苫東関連住宅団地地区有効活用基本構想」に基づき、未処分地の有効活用について速やかに検討を加え、早期処分に努めるべきである。

以上の意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

○10月2日(水) 午後4時39分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定して、午後4時40分延会。

○10月3日(木) 午後4時35分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定して、午後4時36分延会。

○10月4日(金) 午後3時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、代表質問を継続、10月1日の吉川貴盛議員(自民)の再質問に対する知事及び教育長の答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言。次に、



風早 俊男議員(民政)

から、

- ① 政治経済と技術に関し、ソ連邦の政変の受け止めと対応についての所見、北海道経済の低下傾向についての所見と今後の対応、企業誘致の焦点の考え方、ハイテクなど先端分野の企業誘致の進め方
- ② 道政の活性化に関し、道職員採用上級職試験の職種の考え方と道の試験研究機関が一次産業分野に集中していることについての見解、道職員の生涯人生設計の取り組みの考え、人材確保のための給与以外の対応策
- ③ 生活、福祉、医療に関し、道民生活にかかわる施策についての考え方、高齢者保健福祉推進10か年戦略の受け止めと福祉長計などとの位置づけ、老人介護問題や痴呆性老人対策などの受け止めと対処、僻地医療を確保するための地域医療体系の今後の進め方、地域保健医療計画の見直し作業の状況
- ④ リゾート問題に関し、リゾート開発の現状の受け止めと道の対処、リゾート開発に際し特に留意すべき点、道が調査した市町村別ゴルフ場開発状況の受け止めと規制についての見解、リゾート開発の計画と指導の考え方
- ⑤ 教育問題に関し、現在の主任の在任期間と再任されている実態、全教員に占める主任の率と全国の状況、拡大主任を取り入れている府県の数、条件つき学級減対象校を40人学級とすることと40人学級早期実現についての見

解

⑥ 公安問題に関し、警察本部長の着任に際して北海道の印象と警察業務の重点、場外馬券場問題の引継ぎの有無

⑦ 場外馬券場問題に関し、場外発売所についての基本的考え方の変更の有無と今回の経験を生かした今後の対応等について

質問があり、知事、人事委員会委員長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問の後、あらかじめ会議時間を延長して、知事及び教育長から答弁があって、本日の会議はこの程度にとどめ延会することとし、10月5日は、議案調査のため休会することに決定して、午後5時2分延会。

○10月7日(月) 午後1時41分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、代表質問を継続、



吉田 恵悦議員(公明)

から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、ソ連極東地域との経済交流についての今後の取り組みと経済協力プログラムの計画策定の考え方、北方領土問題について政変後のソ連情勢を踏まえた今後の展開、北方領土隣接地域振興等基金の運用益活用の今後の取り組み、盛岡一青森間の本格着工実現による北海道新幹線早期着工に向けての今後の取り組み、千歳川放水路計画についての要望意見の受け止めと今後の対応、美々川流域自然環境調査において関係地域住民の懸念がクリアされた場合の対処
- ② 本道経済の活性化に関し、戦略プロジェクトを推進するに当たってこれまでの検討状況と第四次推進計画における位置づけ、今後の事業展開の考え方、国際貿易・技術交流促進機構のこれまでの進捗状況と今後の具体的展開、新千歳空港の24時間運用の今後の取り組みと見直し
- ③ 道営競馬場外発売所問題に関し、道のこれまでの取り組みに対する批判についての認識と受け止め、今後の取り組みとスケジュール

④ 韓国漁船操業問題に関し、今回の訪韓の成果と今後の国に対する改善措置申し入れについての所見

⑤ 医療福祉問題に関し、看護職員の需給見通しと今後の取り組み、看護職員の資質向上についての所見、心身障害者雇用が進まない背景についての認識、障害者の職業を通じた社会参加と自立を進めるに当たっての雇用対策の所見

⑥ 環境問題に関し、地下水汚染の実態把握と汚染防止対策の状況、飲用井戸等の汚染防止対策の今後の進め方

⑦ リゾート開発に関し、道内リゾート開発の進捗状況とその実態の把握、道の指導助言にもかわらず破綻を来している背景の認識と今後の取り組み、ウラウス・リゾート計画の実態把握とこれまでの経過、今後の取り組み、許認可にかかわる取り扱いの問題点の有無と今後の対応

⑧ 教育問題に関し、地元で提示されている適正配置計画原案の今後の取り扱いと計画原案を見直す場合の地元意向等の取り扱い、養護学校高等部への入学要件等見直しの考え、特殊教育の現場実態の認識と教育目標の考え方、八雲養護学校の拡充整備についての所見、私学の将来展望のビジョン、私立高校授業料軽減補助制度の充実に向けての取り組みについての所見と入学資金貸付制度における父母負担軽減のための取り組み

⑨ 公安問題に関し、第一線の警察官の士気高揚と道民の信頼・協力を取りつけながらの暴力団対策について今後の重点的取り締まり方策等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により、午後3時5分休憩、午後3時37分再開、一般質問に入り、

明田 辰義議員（自民）から、

○ 農業問題に関し、北海道農業の現状認識、新政策本部への提言に関連して農村政策検討委員会での検討内容と今後のスケジュール、農村の過疎対策についての基本的考え、農業の担い手確保対策のこれまでの成果と見解、今後の対応についての見解、転作面積の傾斜

配分是正に関連してポスト水田農業確立対策への対応と決意、北海道農業のビジョンに関連して条件不利地の地域振興対策への見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

三津 丈夫議員（社会）から、

① 農業政策に関し、地域食品加工技術センター建設への実現までのプロセス

② アグロポリス構想に関し、アグロポリス構想と道の戦略プロジェクト農業地域産業複合事業とのかわり、今後のプロジェクトの展開の基本方向、市町村の道産品の販路拡大に対する支援策

③ 空港・港湾の整備に関し、地方空港の国際化による地方の振興策、帯広空港の国際化のためのC I Q整備への対応

④ 職業高校の充実対策に関し、職業高校の現状と問題点、学科のあり方など今後の充実強化に向けての具体的手だて等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。午後4時37分延会。

○10月8日（火） 午前10時19分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、一般質問を継続、

伊藤 条一議員（自民）から、

① 中小企業対策に関し、技術指導にかかるこれまでの施策と本年度実施の制度との相違点及び適用要件、技術指導手数料を指導日数により有料とした理由、手数料の1日単価の根拠、信用組合の経営の実態、信用組合の経営基盤強化への対応

② 省エネルギー対策に関し、省エネルギーの必要性に対する認識と対策への取り組みの考え、ソーラーシステム導入への対処状況と実績、省エネ住宅建設の減税措置についての国への要望の経緯と実現の見通し

③ 治水対策に関し、河川審議会の提言に対する受けとめ、新長計の河川整備の進捗状況、国の第8次治水事業5箇年計画策定に向けての要望と取り組み状況、新長計の目標年次における河川整備率を43%とした根拠、新長計

の指標水準見直しへの所見、新長計におけるダム建設箇所数の根拠と完成の見通し、ダム建設計画の雪対策ダム事業などの施策、ダム建設の地域住民の要望への受けとめと対処の意思、ふるさと川づくり事業に関連して国のモデル事業の採択基準、道単独事業の対象河川の要件と計画状況、国や道のふるさと川づくりの実績と環境整備の内容、枯渇河川などにおける環境整備への取り組み

- ④ 養護学校高等部の整備問題に関し、平成3年3月3日の養護学校中学部卒業者の進路状況、高等部に進学を希望した生徒の状況、入学できなかった生徒のその後の進路状況、本道の養護学校中学部卒業者の高等部進学率に対する認識、明年3月の養護学校中学部等の卒業予定者数、札幌市へ道立の養護学校高等部を設置することへの所見等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

段坂 繁美議員（社会）から、

- ① 環境行政に関し、都市部の公有地や企業・私有地などに緑化を働きかける必要性、公共施設の緑化を促進する考え、再生紙利用及び使用済みコピー用紙回収への取り組みの現状と今後の見通し、都心部における円滑な古紙回収の方策検討への見解
- ② 林業行政に関し、今回の森林法改正に対する基本的認識、林業の活性化のための基本理念、林業労働力確保のための雇用条件改善への考え、道立農業高等学校卒業生の林業関係への就職促進策、農業高校の生徒の海外研修検討への見解、流域林業活性化協議会の構成・運営などに対する指導方法、国有林の経営改善が流域管理システム実施に与える影響と国有林にかかる国への要望の必要性等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。

川尻 秀之議員（自民）から、

- テクノポリス函館に関し、新長計に関連して道南圏の振興の最重点事業、テクノポリス函館開発の位置づけに対する考え方、テクノポリス函館の現開発計画の進捗状況と成果、テクノポリス函館技術振興協会の基金目標達成時期を繰り上げる考え、工業技術センター

の研究員の増員や機器の充実整備に対する認識、第2期開発計画に関連して函館市の地場工業高度化基盤整備構想など地元要望への対処、地域の工業技術開放試験施設整備事業の対象市町村の要件、補助対象事業の内容と補助率等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午前零時休憩、午後1時35分再開。

清水 誠一議員（自民）から、

- ① 農業問題に関し、重点的取り組みを行っている農業政策と今後の方向、農地の流動化施策、国の残留農業基準改定に向けての状況と道の対応

- ② 道路行政に関し、道路依存への現状認識、本道の高規格幹線道路への今日までの取り組みと今後の見通し、一般国道の自動車専用道路の整備方法と現状、今後の整備見通し、これまでの国道昇格の経緯と今後の見通し、道道の舗装率・冬期間交通どめ区間などの現況、交通ネットワークの今後の整備方針

- ③ 道道広域公園に関し、北海道緑のマスタープラン整備目標を20年と長期にしたことへの疑義、市町村との連携による整備への施策展開への見解

- ④ 福祉行政に関し、ホームヘルパーを増員することへの見解、地方社会福祉審議会の答申を踏まえた今後の社会福祉研修体系・機能の見直し、市町村社会福祉協議会の福祉活動専門員の複数配置や人件費の引き上げなど充実強化を図ることへの見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

高橋 定敏議員（自民）から、

- ① 陸上自衛隊の削減問題に関し、削減計画についての認識、削減についての道への正式な通知の有無、北海道として削減反対の意思を明確にし防衛庁へ働きかけることへの所見

- ② 農業問題に関し、幌延町の花弁産業振興構想に対する見解、産地地域活性化支援事業から幌延町の花弁栽培事業を補助不採択とした理由、道の農業改良普及所長が花卉栽培検討委員会の委員を辞任した理由、今後の委員への参画

- ③ 水産問題に関し、第3次沿整の魚礁設置計

画に対する海域別達成率、最終年までの達成見通し、沿整の助成対象となる魚礁の条件、新型魚礁の研究開発の成果と問題点、耐久性や安定性への不安、新型魚礁開発に対する沿整の補助の有無、研究開発期間の1年延長にかかわって国費助成がない理由、道費による支援の考え等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午後2時47分休憩、午後3時26分再開。

乙川 節郎議員（公明）から、

- ① 生活福祉問題に関し、テレビ・ラジオの難視聴地域の実態、これまでの難視聴地域解消のための取り組み、難視聴地域の早期解消と今後の計画的取り組みへの所見
- ② 医療問題に関し、老人保健事業第2次5ヶ年計画の進捗状況、老人保健事業推進の考え、寝たきり老人問題についての防止対策
- ③ 日本海振興対策に関し、推進計画における位置づけと取り組み状況、これまでの成果と今後の取り組み、日本海地域への振興対策が水産業にウェイトが置かれていることへの所見、抜本的な振興方策の検討・推進への所見と現状、専任の窓口設置など推進体制への所見、21世紀に向けた日本海地域の総合的な振興ビジョン提示の必要性、総合的ビジョン策定への所見、市町村に対する支援、地域産業の振興への考えと今後の取り組み、栽培漁業にかかわる基金構想への見通しと考え方、今後の取り組み、日本海地域の振興を目指した地域プロジェクトへの支援方策と進捗状況、道路等交通アクセスの整備確保への今後の取り組み
- ④ 教育問題に関し、学校週5日制に対する認識とこれまでの取り組み、文部省の調査研究協力校の取り組み等の実態、今後の取り組みと見通し等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

山口 幸太郎議員（自民）から、

- 新千歳空港の24時間運用問題に関し、国際エアカーゴ基地構想の見通し実現に向けての問題、騒音対策の内容と関係住民からの意見、騒音コンターの予想を民間航空機だけとした理由、飛行コース設定案に伴う自衛隊関係者への影響と対策、国際エアカーゴ基地構

想の基本計画策定の時期とその内容、緊急時の医療体制整備への対処等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午後4時27分延会。

○10月9日（水） 午前10時42分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、

山崎 正隆議員（自民）から、

- ① 酪農・畜産に関し、本道酪農の将来展望、酪農家の育成確保対策、本道から都府県に生乳を安定供給できる輸送手段の整備状況、酪農経営の今年の経済見通し、廃用牛・乳用子牛などの個体価格の動向見通し、道畜産物価格安定基金協会の乳用子牛に対する補給金の交付状況、乳用子牛の今期の対象状況、畜産環境整備特別対策事業に生活排水処理を含めるよう国へ働きかける考え、道費負担に対する所見、産業動物の診療獣医師不足の実態への見解、獣医師全体の確保と診療体制の強化への考え
- ② 林業に関し、森林面積確保にかかる実態とその要因、新長計の森林面積指標の確保方法、人工造林の面積減少の実態と要因に対する認識及び取り組み状況、苗木生産の需給計画と対処の方法、木材産業振興のためのこれまでの施策及び今日までの進捗状況と成果、森林組合の運営に関する行政監察の指摘に対する受けとめと今後の改善指導への取り組み等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

伊達 忠一議員（自民）から、

- ① 地下鉄建設にかかわる道費補助に関し、札幌市の地下鉄の役割についての基本的な認識、他府県の地下鉄事業に対する補助についての認識、道が補助することへの見解
- ② 市立札幌病院への救急センターに関し、北海道地域保健医療計画の救急医療体制の整備目標達成に向けてのこれまでの取り組み、今後の取り組み方法、市立札幌病院を救命救急センターに指定することへの見解、北海道職業病対策協議会の提言による職業性疾病の防

止対策、同協議会が2年度以降開催されていない理由、札幌市の厚別、手稲両区に警察署を新設する計画の有無、警察署新設までの派出所設置の考え等について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。午前11時52分休憩、午後3時56分再開。

菅原 功一議員（自民）から、

- ① 千歳川放水路問題に関し、計画に対する認識、放水路計画についての社会党道本部委員長の発言に対する評価、放水路以外の工法検討の状況と放水路建設による解決策についての認識、苫小牧市からの要望に対する受け止めと回答の考え、千歳川放水路建設にかかわる環境影響評価の内容と手順、環境アセスメントが直ちに工事着手としないことの可否、自然環境調査の進捗状況と完了の見通し
- ② 保健医療行政に関し、道民の健康づくり対策に栄養士の果たす役割、市町村への栄養士配置についての指導状況、帯広や釧路などの道立保健所における栄養士の複数配置への見解、道立病院や札幌大などの栄養士配置が事務部門であることの弊害とこれに対する調査検討の状況、本道における学校給食の時代の推移による変化、米飯給食の普及状況や栄養摂取上の問題点、学校における健康教育としての給食の位置づけ検討の状況と具体的教育方法・内容、本道におけるランチルーム活用の現状とランチルーム方式の長所、学校栄養職員による栄養指導の現状と道教委の指導、今後の取り組み方法等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から発言があって、午後4時34分延会。

○10月11日（金） 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、一般質問を継続、

板谷 実議員（民政）から、

- ① 北海道経済の発展方策に関し、北海道経済が全国的にたちおくれ傾向にあることについての受け止め、経済力の地域間格差が全国的に見て低下している実態の認識、第2次産業

における工業化が立ちおけていることについての考えと本道工業の高度化についての対処の考え、道央及び函館両テクノポリス指定地域の今後の整備方策、道央テクノポリスについて苫小牧市にテクノプラザを建設する考え、道立職業訓練短期大学校建設についての所見、域際収支の赤字について基本的認識と赤字解消のための重点分野、公共投資の配分増についての見解と対応の仕方

- ② 教育問題に関し、新教育長期総合計画の基本的考え方とハード面の具体的方向、高等学校間口問題の基本的認識、現行学区制の施行された時期と学区の存在の考え方、生徒減少期における間口対応策についての所見、長期的展望に立った方針策定の考えの有無、高校間口問題について中学校生徒の声を直接聴取したことの有無と聴取する考えの有無、高等学校への入学について学区の規制と制約を加えることの考え方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

木村 澄男議員（道政）から、

- ① 総務行政に関し、ソ連の政治情勢を踏まえての北方領土返還促進の今後の取り組み、ソ連における北方領土返還阻止の動きについての認識と今後の取り組み、2島返還についての見解、ソ連とのこれまでの交流における問題点と評価、今後の交流の進め方
- ② 商工労働観光行政に関し、本道貿易が低迷している要因とこれまでの取り組み、今後の貿易振興策の進め方等について

質問があり、知事から答弁、同議員から再質問、知事から答弁。次に、

萩原 信宏議員（共産）から、

- ① 政治姿勢に関し、歯舞・色丹が北海道の一部であるという認識の見解と得撫以北の島々についての考え方、千島列島帰属に当たっての見解、来年の北方墓参団の考え方、サハリン・ワニノ航路の確立に向けての今後の取り組み、泊原発について今回の1号機、2号機の事故についての認識と北電に対し資料の提出を求める考え、庁内に設ける予定の連絡会議の設置時期と役割、場外馬券場問題について調査委員会をつくり真相究明をする考え、

知事のゴルフ場縁故会員権購入についての見解

- ② 産業開発問題に関し、富士銀行不正融資事件と本道のリゾートやゴルフ場開発へのかかわりについての認識、農地転用に伴う補助金返還の事例と農地の目的外使用についての見解、開発局の千歳川放水路計画における農地再編成構想案に対する申し入れについての見解
- ③ 道民生活に関し、道営住宅家賃改定の審議会への諮問についての見解、障害者対策について小規模作業所への援助と国の補助との併給を認める考えの有無、障害児高等部への入学に対する見解、アイヌ新法制定について公約に掲げた根拠、アイヌの子弟への高校・大学入学資金の充実に向けた施策の考え方、看護婦需給見通しと地域医療計画との矛盾についての認識、道立衛生短大の大学化についての考えと道北地域に第2の衛生短大をつくる考え、日立北海セミコンダクタ社に対するこれまでの企業立地促進費補助金の交付額と条例見直しについての見解、道立技術専門学院の再編整備計画における切り捨て計画についての見解
- ④ 交通問題に関し、旧国鉄の分割民営化に伴う道地方労働委員会の救済命令が守られていないことについての見解、JRによる運輸営業所設置に対する見解
- ⑤ 教育問題に関し、道立高校などの入学金と検定料の値上げ案についての見解、私立高校に対する入学金助成制度の新設検討についての見解、40人学級での募集を平成4年度から実施する考えの有無、公立高校適正配置計画案に対する地元合意についての見解等について

質問があり、知事、地方労働委員会会長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。

議長から、議案第1号ないし第5号及び第11号について、本会議に31人の委員をもって構成する 予算特別委員会を 設置し、これに付託の上、審査する旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

木村 澄男（道政）	板谷 実（民政）
石井 孝一（自民）	上田 茂（自民）
加藤 和久（自民）	釣部 勲（自民）
乙川 節郎（公明）	三津 爽夫（社会）
吉田 栄（社会）	鯉谷 忠（社会）
小池 昌（社会）	小山 誠司（社会）
土田 弘（社会）	佐藤 時雄（自民）
高橋 一史（自民）	伊達 忠一（自民）
野呂 善市（自民）	酒井 芳秀（自民）
畠山 博（自民）	綿貫 健輔（自民）
西本 美嗣（社会）	森 敏捷（社会）
大内 良一（社会）	菊地 芳郎（社会）
檜林 巖（社会）	神本 三也（社会）
工藤 啓二（公明）	中川 隆之（自民）
中川 義雄（自民）	高木 繁光（自民）
平野 明彦（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、10月14日から10月17日まで休会することに決定して、午後1時4分散会。

○10月18日（金） 午後4時35分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、今期を10月19日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。午後4時37分散会。

○10月19日（土） 午後4時39分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時40分休憩、午後9時26分再開、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を10月22日まで3日間延長することをはかり、異議なく決定。各委員会付託議案審査のため、10月21日は休会することに決定。午後9時27分散会。

○10月22日（火） 午後4時36分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時37分休憩、午後9時6分再開。諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を10月23日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。午後9時8分散会。

○10月23日（水） 午後4時22分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、予算特別、総務、商工労働観光、文教、農政、建設、水産林務各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、

萩原信宏議員（共産）から、議案第1号、第6号、第7号、第9号ないし第21号及び第28号に関する反対討論があって、討論終結。

採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第6号、第7号、第9号ないし第21号及び第28号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第5号、第8号及び第22号ないし第27号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。

日程第2 議案第29号ないし第32号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、日程第2のうち、議案第29号及び第30号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、いずれも原案のとおり同意議決。日程第2のうち、議案第31号及び第32号を問題とし、異議なくいずれも原案のとおり同意議決。

日程第3 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

日程第4 決議案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員について、議長から指名のとおり選任することに決定。

○道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員

（27人）

木村 澄男（道政） 伊藤 政信（社会）
岡本 修（社会） 石井 孝一（自民）

伊藤 栄一（自民） 清水 誠一（自民）
高橋 定敏（自民） 神戸 典臣（自民）
桜田 正明（自民） 風早 俊男（民政）
段坂 繁美（社会） 大橋 晃（共産）
小山 誠司（社会） 永井 利幸（自民）
小野寺 勇（自民） 吉川 貴盛（自民）
綿貫 健輔（自民） 深田 義勝（社会）
大内 良一（社会） 高橋 庸（社会）
谷川 英雅（社会） 岡本栄太郎（社会）
檉林 巖（社会） 工藤 啓二（公明）
久田 恭弘（自民） 水岡 薫（自民）
藤井 猛（自民）

日程第5 意見案第3号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なくいずれも原案のとおり可決。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定。

今期定例会に付議された案件はすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、午後4時56分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、10月11日設置され、平成3年度各会計補正予算案5件及び条例案1件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、委員長に 伊達 忠一君

副委員長に 小山 誠司君

第2分科会は、委員長に 森 敏捷君

副委員長に 野呂 善市君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、10月14日から各部所管の審査に入り、本

日、各分科会の質疑を終了し、本日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、当面処置を要する経費及び国庫補助事業の見通しを得たことに伴う経費などについて所要の予算措置を講じようとするものであり、その総額452億6,500万円余に及ぶ補正予算並びに北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、分科会において質疑保留となった事項、すなわち、農地転用について総括質疑を行い、本日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号ないし第5号及び第11号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告をおわります。

〈知事提出〉

第3回定例会において提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
9. 25	1	平成3年度北海道一般会計補正予算(第2号)	予算特別	10. 23	原案可決
同	2	平成3年度北海道札幌医科大学付属病院特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	平成3年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	4	平成3年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	5	平成3年度北海道工業団地開発事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	7	札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	8	北海道立工業試験場条例の一部を改正する条例案	商工労働 観 光	同	同
同	9	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	10	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文 教	同	同
同	11	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	12	農道離着陸場整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	同	同
同	13	農業水利施設高度利用事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	14	防災ダム利活用保全施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	15	中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	16	水環境整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	17	街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	18	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	19	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	同	同
同	20	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	21	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	22	損害賠償請求事件における和解の件	総 務	同	同
同	23	工事請負契約の締結(道道幌糠小平停車場線道路改良〔中幌トンネル〕工事)に関する件	建 設	同	同
同	24	工事請負契約の締結(札幌市道宮高層住宅新築工事〔豊平団地H-1〕)に関する件	同	同	同
同	25	工事請負契約の締結(札幌市道宮住宅新築工事〔真駒内団地G〕)に関する件	同	同	同
同	26	財産の取得(物品・全身用コンピュータ断層撮影装置一式)に関する件	総 務	同	同
同	27	財産の取得(北海道南幌養護学校用地)に関する件	文 教	同	同
同	28	土地の信託に関する件	総 務	同	同
10. 23	29	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
10. 23	30	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		10. 23	同意議決
同	31	北海道取用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	32	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 25	1	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成3年9月11日専決処分）			報告のみ

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
7. 10	26	平成2年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	10. 1	意見を付し認定議決
同	27	平成2年度道有林野事定議業会計決算に関する件	同	同	同
同	28	平成2年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	29	平成2年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	30	平成2年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	31	平成2年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し認定議決

〈議員提出〉

第3回定例会において提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
10. 19	1	リゾートの乱開発を抑制する決議	桜田正明議員ほか5人	10. 23	原案可決
10. 23	2	道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置に関する決議	湯佐利夫議員ほか15人	同	同

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
9. 25	1	畑作経営の安定に関する要望意見書	大野新生議員ほか13人	9. 25	原案可決
同	2	韓国漁船操業問題に関する要望意見書	吉野之雄議員ほか12人	同	同
10. 19	3	雲仙・普賢岳噴火災害対策についての要望意見書	桜田正明議員ほか5人	10. 23	同
10. 23	4	義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書	酒井芳秀議員ほか13人	同	同
同	5	高等学校の学級編制基準の改善を求める要望意見書	同	同	同

決 議 案

決議案第1号 リゾートの乱開発を抑制する決議

(平成3年3定
桜田正明議員ほか5人提出)
平成3年10月23日原案可決)

4年前に制定されたいわゆる「リゾート法」以降、本道においても、一大リゾート開発ブームが到来した。

しかし、最近道民の間から、乱開発による自然破壊や地方財政の圧迫などについて批判の声があがっている。

また、国立公園内でのゴルフ場やリゾート開発計画が持ち上がったたり、銀行の不正融資とのかかわりや、農地法、国土法違反事件なども発生し、大きな社会問題になっている。

みどりあふれる本道においては、豊かな自然環境の保全につとめ、自然や農林業を生かした道民本位のリゾート開発こそが望ましく、乱開発の抑制について十分配慮すべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北 海 道 議 会

決議案第2号 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置に関する決議

(平成3年3定
湯佐利夫議員ほか15人提出)
平成3年10月23日原案可決)

1. 本議会に27人の委員をもって構成する道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する問題について必要な調査を行う。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができる。

意 見 案

意見案第1号 畑作経営の安定に関する要望意見書

(平成3年3定
大野新生議員ほか13人提出)
平成3年9月25日原案可決)

本道においては、恵まれた土地資源を生かしながら、生産性の高い農業の確立に務めているが、畑作経営は輸入の農産物や各種調製品との競争が強まる中で、抑制的な生産を余儀なくされている一方、良質な農産物の供給が求められているなど、厳しい事態に直面しており、さらに、ガット・ウルグアイ・ラウンドの農業交渉の行方に生産者は大きな不安を抱いている。

こうした情勢の下で、将来にわたり本道畑作の健全な発展と農業経営の安定を図るために

は、生産者の自助努力と相まっけた確な施策の展開が必要であるので、国においては、食料自給率の向上を基本としつつ、本道畑作の現状を十分認識し、左記事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 平成3年産の畑作物価格について

(1) てん菜最低生産者価格、馬鈴しょ原料基準価格及び大豆基準価格については、畑作経営が厳しい状況に置かれていることを勘案し、生産者の所得が確保され、経営の安定が図られるよう、適正に設定すること。

また、大豆基準価格の銘柄・規格・等級間格差については、現行通りとすること。

(2) てん菜糖事業団買入価格及び馬鈴しょでん粉買入基準価格については、集荷・製造経費等の実態を考慮し、適正に設定すること。

(3) てん菜原料糖対策費は、引き続き措置すること。

2. 畑作経営の体質強化対策等の拡充強化について

(1) 優良品種の早期開発や病害虫防除技術の確立などの試験研究を拡充強化すること。

(2) 地域農業のシステム化や複合化を促進する対策を強化すること。

(3) 適正な輪作の推進や地力増強のための緑肥作物等の導入を促進する新たな対策を講ずること。

(4) 肥料、農薬、農業機械など生産資材の価格低減と安定供給が図られるよう業界指導を強化するなど適正な措置を講ずること。

(5) 国産畑作物の新規用途の開発・普及や消費拡大運動などの需要拡大対策を拡充強化すること。

3. 大豆交付金の支払い方法の改善について

大豆交付金の概算払い率の引上げ、精算払の迅速化など支払い方法を改善すること。

4. 農産物の輸入規制措置の堅持等について

(1) 雑豆、でん粉の現行輸入規制措置を堅持すること。

(2) 自由化されている各種調製品について、秩序ある輸入が行われるよう、関係業界を指導すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号 韓国漁船操業問題に関する要望意見書

(平成3年3定
吉野之雄議員ほか12人提出
平成3年9月25日原案可決)

北海道周辺海域における韓国漁船の操業問題の解決のため、北海道議会としては、これまで再三にわたり要望意見書をもって韓国漁船に対する漁業水域法の適用を強く訴えてきた。

しかしながら、いまだその実現を見るに至らず、本道沿岸漁場における韓国漁船の操業は我が国の取締権が及ばないことなどから、自主規制措置があるにもかかわらず、依然として漁具被害や漁場の荒廃を引き起こし、本道漁船漁業者の経営と生活を窮地におとしめている。

さらに、本年、サケ・マスの沖獲り禁止などにより、本道の漁船漁業は大幅な減船を余儀

なくされるなど、かつてないほどの危機的状況に追い込まれている。

こうした中で、韓国漁船の操業を従来どおり続けさせることは著しく行政不信を招来するばかりでなく、社会不安にも発展しかねないものであり、到底容認できるものではない。

かかる事態の根本的解決のため、現行の日韓政府間による取り決めが本年12月末をもって期限切れとなるのを機会に、韓国漁船に対する我が国漁業水域法の適用など、韓国漁船の操業に係る基本的枠組みの抜本的改善を強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第3号 雲仙・普賢岳噴火災害対策についての要望意見書

(平成3年3定
桜田正明議員ほか5人提出
平成3年10月23日原案可決)

去る、6月3日、雲仙・普賢岳で発生した大規模な火砕流は、多数の犠牲者や負傷者をはじめ、家屋、道路等に甚大な被害をもたらしている。

また、たび重なる台風や豪雨が各地で河川の氾濫や土砂災害などの被害をもたらし、一方、被災者の方々は長期にわたる避難生活を余儀なくされ、社会・経済活動には極めて深刻な影響を与えている。

よって、政府においては、被災者の救済及び災害復旧にあたって、現行法令の弾力的な運用を行うとともに、避難住民の不安の軽減と生活、営業に対する必要な措置を講じ、観測・の強化及び避難体制の整備について新たな立法措置の検討など特段の措置を講じられるよう監視体制強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
自治大臣、国土庁長官 }

意見案第4号 義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書

(平成3年3定
酒井芳秀議員ほか13人提出
平成3年10月23日原案可決)

大蔵省は、平成4年度予算編成に当たって、「義務教育費国庫負担法」から、学校栄養職員、事務職員の給与費及び共済費等を適用除外にしようとする動きがあるやに仄聞する。

義務教育費の国庫負担は、義務教育無償の原則に則り、国民のすべてに対し、その妥当な規模と内容を保障するため、国が必要な経費を負担することにより、教育の機会均等とその水準の維持向上を図ることを目的とするものであり、特に、学校の基幹の職員である学校栄養職員及び事務職員の給与等を、国庫負担法から適用除外とすることについては、単に厳しい地方財政に対し負担を増大させるにとどまらず、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府におかれては、明年度の予算編成において、このような措置をとることのないよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、自治大臣 }

意見案第5号 高等学校の学級編成基準の改善を求める要望意見書

(平成3年3定
酒井芳秀議員ほか13人提出
平成3年10月23日原案可決)

1974年の通常国会では、国民世論を反映して全会派一致で義務制学校において、「5年以内に学級編制基準を40人以下とする。」との決議が行われている。

中学校卒業者の減少傾向の中で、高等学校においても40人以下学級の実現が強く求められている。

よって、政府においては、高等学校の学級編制基準の改善を早急に実施されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、自治大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
17	馬追丘陵におけるゴルフ場造成計画に関する件	サツラク農業協同組合 組合長理事 黒澤 信次郎	総 務	継続審査
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤 重行	保健環境	同
19	李恩恵拉致事件の真相究明及び原状回復を求める意見書提出に関する件	札幌市北区 工藤 正太郎外30人	総 務	同
20	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 兼古 哲郎	文 教	同
21	苫小牧東高校・苫小牧南高校・苫小牧工業高校・白老東高校からの各一学級削減に反対する件	苫小牧公立高校新設をすすめる会 代表 佐藤 弘毅	同	同
22	18歳到達による児童扶養手当支給喪失者に対する支給延長制度に関する件	札幌市厚別区 佐藤 玲子	生活福祉	同
23	6歳未満児の歯科治療費に対する助成を求める件	「子どもの歯を守る」札幌実行委員会 代表 菅原 和人	保健環境	同
24	岩見沢の高校間口削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	岩見沢の高校間口削減に反対する父母連絡会 代表 石田 ルミ江	文 教	同
25	ゆたかな高校教育を保障するために、学級削減に反対し、40人以下学級の実現を求める件	ゆたかな高校教育をめざす西胆振の会 代表 城下 勲	同	同
26	道立高等学校入学検定料、入学科値上げに反対する件	全北海道教職員組合 代表 小林 勝行	同	同
27	足寄高校の4学級維持と、35人以下学級の早期実現を求める件	北海道高等学校教職員組合連合会足寄高校分会 書記長 小川 裕司	同	同
28	滝川西高等学校の間口維持及び高校の40人以下学級の実現を求める件	北海道高等学校教職員組合北空知支部滝川西高校分会 分会長 平加 勲	同	同
29	江差高校、熊石高校、上ノ国高校の間口削減に反対する件	ゆきとどいた教育をすすめる熊石連絡会 北海道高等学校教職員組合熊石高校分会 分会長 北崎 和夫	同	同
30	函館中部・工業・商業・東・上磯・七飯高校の間口削減、函館西高校定時制募集停止に反対する件	ゆきとどいた教育をすすめる函館・道南の会 代表 高田 敏充	同	同
31	滝川高等学校学級数の現状の維持を求める件	北海道滝川高等学校教職員一同 代表 嶋 良一	同	同
32	網走第四学区の高校間口の存続と40人以下学級の早期実現を求める件	北海道高等学校教職員組合紋別支部 支部長 荻原 政明外1人	同	同
33	道立高等学校入学検定料、入学科値上げに反対する件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 場相 実	同	同

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
34	函館東高校の間口削減に反対する件	北海道高等学校教職員組合函 館支部函館東高校分会 分会長 松原 寿一	文 教	継続審査
35	八雲高等学校（普通科）の間口削減に反対する件	北海道高等学校教職員組合八 雲高校分会 分会長 安藤 亨二	同	同
36	高等学校40人学級の早期実施を求める件	北海道高等学校PTA連合会 会長 木本 由孝	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
5	義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担 制度堅持に関する件	北海道学校事務労働組合 委員長 直島 峯夫	文 教	継続審査
6	千歳市のゴルフ場新設計画に関する件	千歳の自然保護協会 会長 西島 浩	総 務	同
7	千歳市におけるゴルフ場造成等による森林の大規模開発を全 面凍結し、国の天然記念物クマゲラの生息地を守る野鳥生息 地調査の実施を求める件	日本野鳥の会会員 濱邊 修平	文 教	同
8	道営競馬札幌場外馬券発売所の西創成地区（南6条西5丁目） への移設推進に関する件	社団法人西創成親和会 理事長 松本 武	農 政	同
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	北海道精神障害者社会復帰施 設協議会（準備会） 代表 岸本 芳朗外1人	保健環境	同
10	小樽工業高校の学級削減案の白紙撤回を求める件	北海道小樽工業高等学校PT A 会長 氏家 靖洲外1人	文 教	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定のあったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
12	季節労働者の生活と雇用安定のため、冬期雇用援護制度の延 長を求める件	北海道季節労働組合 会長 越前谷 忠	商工労働 観 光	議決不要
14	冬期援護制度の延長・改善に関する件	地元で働く仕事と90日支給復 活を要求する北海道連絡会 代表 山科 喜一	同	同
15	借地借家法案の廃案を求める国への意見書提出に関する件	借地・借家法改悪反対北海道 連絡会 北海道商工団体連合会 北海道公団住宅自治会協議会 借地・借家人組合北海道連絡 協議会 代表 猪股 嘉子	建 設	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関する件	総 務
7	「北海道分県」の実現を求める件	同
9	小選挙区制導入に反対する決議を求める件	同
16	小選挙区制の導入に反対する意見書の採択を求める件	同
10	白内障害治療の眼内レンズ補助に関する件	生活福祉
11	在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件	同
13	国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件	同
5	北海道看護婦職員養成修学資金の貸付枠拡大を求める件	保健環境
6	北海道立寿都病院の町移管に反対する件	同
1	ホッカイドウ競馬専用場外発売所を薄野に開設することに反対する件	農 政
2	道営競馬札幌場外馬券発売所をススキノ周辺地区に開設することに反対する件	同
3	私学助成の抜本的拡充と小中高35人以下学級の早期実現を求める件	文 教
8	子供たちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現を求める件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
4	北海道の気象事業整備・拡充を求める件	総 務
3	産業廃棄物の不適正処理への指導強化を求める件	保健環境
1	道営競馬場外馬券発売所の札幌都心部（ススキノ地区）への移設推進に関する件	農 政
2	薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○9月11日（水） 開議 午後1時22分
散会 午後1時24分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 第3回定例会の招集期日を9月25日とすること、会期は24日間とすることを決定。
- ② 総務部長から、第3回定例会の提出予定案件について説明。
- ③ 第3回定例会の日程について、次のとおり取り進めることを決定。

▽ 第3回定例会

9月25日	本会議（提案説明）
26日～30日	休会
10月1日	本会議（代表質問）
2日	本会議（代表・一般質問）
3日・4日	本会議（一般質問）
5日・6日	休会
7日	本会議（一般質問）
8日	本会議（一般質問、予算特別委員会設置）
9日～17日	休会
18日	本会議

- ④ 代表質問について、順位は社会、自民、民政、公明の順とすることを了承。各会派の発言時間の使用状況について説明。

○9月24日（火） 開議 午後1時58分
散会 午後2時3分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 代表質問の通告について、9月27日正午までに提出することを了承。
- ③ 一般質問について、順位は従来例により取り進めること、通告は9月30日正午までに

提出することを了承。

- ④ 予算特別委員会について、委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料のとおりとすること、委員会構成については、共産及び道政が同率のため両派間において調整すること、調整結果は後日報告すること、委員名簿は10月5日正午まで提出することを了承。
- ⑤ 農政委員会において畑作経営の安定に関する要望意見書及び水産林務委員会において韓国漁船操業問題に関する要望意見書の発議がそれぞれ予定されており、提出された場合、明日の本会議において、議決する扱いとすることを決定。
- ⑥ 議案調査のため、9月26日から9月30日まで休会し、10月1日再開することを決定。
- ⑦ 9月25日の本会議の議事順序については、明日協議することを了承。

○9月25日（水） 開議 午前9時40分
散会 午前9時42分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 意見案第1号及び第2号について、本日の本会議において、議決する扱いとすることを了承。
- ② 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○10月1日（火） 開議 午前9時42分
散会 午後4時27分
議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 委員長から、企業会計決算特別委員会の審議状況について、前会より継続審査中の報告第26号ないし第31号については9月27日の委員会において、それぞれ意見を付し認定議決又は認定議決と決定し審議を終了した旨報告。本件については、本日の本会議において委員長報告を行い、討論の後、議決する扱いとすることを決定。
- ② 代表質問の通告（4人）について報告。
- ③ 代表質問の進め方について、本日2人、明日2人行うことを決定。

- ④ 一般質問の通告（21人）について報告。
- ⑤ 一般質問の諸派の順位については輪番制とすることになっており、今回は道政、共産の順となることを了承。個人別順位について、各会派内における順位等に変更がないことを確認の後、議事課長説明のとおりとすることを了承。
- ⑥ 一般質問の進め方について、10月2日は代表質問終了後2人、3日6人、4日6人、7日3人、8日4人の予定で取り進めることを決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。午前9時48分休憩、午後4時26分再開。
- ⑧ 総務部長から、吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨を発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することを決定。

○10月2日（水） 開議 午前9時45分
散会 午後4時21分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、昨日の吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨を発言の後、了承。
- ② 総務部長から、出納長が外務省北海道担当大使御尊父の葬儀に出席のため上京するので、本日及び明日3日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。午前9時47分休憩、午後4時20分再開。
- ③ 総務部長から、吉川議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。
- ④ 委員長から、理事者及び自民党に対し、出来るだけ早く再開できるよう精力的に努力を願いたい旨を発言の後、本日の本会議は日程を延期し延会することを決定。

○10月3日（木） 開議 午前9時50分
散会 午後4時28分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、10月1日の吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時

間を要する旨発言。石川十四夫議員（道政）から、委員長から理事者に対し最大限の努力をするよう要請願いたい旨発言。委員長から、理事者及び自民党において促進方よろしく願いたい旨発言。午前9時52分休憩、午後4時24分再開。

- ② 総務部長から、吉川議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。委員長から、本日の本会議は日程を延期し延会することをはかった。風早俊男委員（民政）及び大橋晃議員（共産）から、審議の促進方及び時間の見通し等について意見及び要望があり、委員長から、理事者に対しなお一層の努力を願いたい旨発言の後、本日の本会議は日程を延期し延会することを決定。

○10月4日（金） 開議 午前10時23分
散会 午後3時
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、10月1日の吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前10時24分休憩、午後2時54分再開。
- ② 総務部長から、吉川議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は吉川議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 代表及び一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ④ 本日の本会議について、代表質問2人（うち1人継続）行うことを決定。
- ⑤ 一般質問の進め方については、改めて協議することを了承。
- ⑥ 議案調査のため10月5日は休会、10月7日午後1時再開することを決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○10月7日（月） 開議 午後零時48分
散会 午後零時52分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了

承。

- ② 一般質問の進め方について、当初日程上一般質問は10月8日までとなっているが、10月9日まで行うこととし、本日は代表質問終了後3人、8日7人、9日7人の予定で取り進めることを決定。
- ③ 総務部長から、鈴木弘泰副知事が参議院地方行政委員会の地方行政調査に対応するため、7日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ④ 本日の本会議について、代表質問1人行った後、引き続き一般質問3人行うことを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○10月8日(火) 開議 午前9時41分
散会 午前9時43分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○10月9日(水) 開議 午前9時47分
散会 午後3時41分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人行うことを了承。
- ③ 予算特別委員会について、予算特別委員については共産及び道政の話し合いの結果、今回は道政とすることになった旨報告の後、了承。各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付資料のとおり決定した旨報告。委員の選任について、配付名簿のとおり選任することを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることを決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のため、10月11日から10月17日まで休会し、10月18日再開する

とを決定。

- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。午前9時50分休憩、午後3時39分再開。
- ⑦ 委員長から、先程の委員会において、本日は一般質問を全て終了することで決定したが、現在、一般質問4人を残しており、本日中に終了するにはなお時間を要するため、一般質問を10月11日まで行うこととし、本日は1人、11日3人行うことをはかり、決定。

○10月11日(金) 開議 午前9時48分
散会 午前9時50分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 一般質問の通告内容等に変更がないことを確認。
- ② 本日の本会議について、一般質問3人行うことを了承。
- ③ 予算特別委員会について、一般質問終了の後設置することとし、委員の選任については配付名簿のとおり選任することを了承。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、10月14日から17日まで休会し、10月18日再開することを決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○10月18日(金) 開議 午前10時2分
散会 午後4時17分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会は第1分科会が終了したが、第2分科会は9人質問者を残している状況にあり、なお時間を要する旨、各常任委員会については議了していない旨を報告。午前10時3分休憩、午後4時15分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会並びに各常任委員会はいずれも議了していない旨を報告。
- ③ 委員長から、今期定例会の会期は本日までとなっているが、本日中にすべてを議了することは困難と思われるため、先程、理事会を

開催し協議した結果、会期を10月19日まで1日間延長することで意見の一致を見たことを報告。本件については、理事会決定のとおりとすることを決定。

○10月19日(土) 開議 午前11時33分
散会 午後9時8分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会並びに各常任委員会はいずれも議了していない旨を報告。午前11時34分休憩、午後4時26分再開。
- ② 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後4時27分休憩、午後9時7分再開。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会並びに各常任委員会はいずれも議了していないこと、審議になお時間を要する旨を報告。
- ④ 委員長から、今期定例会の会期は本日までとなっているが、本日中に議了することは困難と思われるため、先程、理事会を開催し、協議の結果、今期定例会の会期を10月22日まで3日間延長し、各委員会付託議案審査のため10月21日は休会、10月22日再開することで意見の一致を見た旨を報告の後、本件については、理事会決定のとおりとすることを決定。

○10月22日(火) 開議 午前9時53分
散会 午後8時55分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会並びに各常任特別委員会はいずれも議了していない旨を報告。午前9時54分休憩、午後4時14分再開。
- ② 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。
- ③ 委員長から、産炭地域振興に関する中央折衝のため、石炭対策特別委員会正副委員長が本日東京中であり、本日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。午後4時15分休憩、午後

8時52分再開。

- ④ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会並びに各常任委員会はいずれも議了しておらず、なお時間を要することを報告。
- ⑤ 委員長から、今期定例会の会期は本日までとなっているが、本日中にすべてを議了することは困難と思われるため、今期定例会の会期を10月23日まで1日間延長することを決定。
- ⑥ ホッカイドウ競馬専用場外発売所問題について、先程、議長から各会派会長会議において場外発売所問題に関する特別委員会を設置することが了承され、議会運営委員会で設置に関する諸手続きを取り進めるよう話があったことを報告。本件の取扱いについては、明日改めて協議することを了承。

○10月23日(水) 開議 午後零時20分
散会 午後4時
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 委員長から、場外発売所問題に関する特別委員会の設置について、「道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置案」のとおり設置することをはかり、異議なく決定。設置手続きについて、配付の手續案のとおり取り進めること、委員名簿については各派において速やかに提出することを決定。午後零時21分休憩、午後3時55分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ③ 総務部長から、追加提出議案について説明の後、本日の本会議で議決することを了承。
- ④ 決議案第1号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑤ 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会設置に関する決議案について、配付の決議案第2号のとおり本日の本会議で議決することとし、併せて、配付の委員名簿のとおり選任することを決定。
- ⑥ 意見案第3号ないし第5号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決

する扱いとすることを了承。

- ⑦ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ⑧ 委員長から、産炭地域振興に関する中央折衝のため、石炭対策特別委員会正副委員長が上京中であり、本日の本会議を欠席する旨を発言の後、了承。
- ⑨ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

常任委員会

総務委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時23分
散会 午後1時28分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、土地信託事業の経過について報告。
- ② 行財政状況等に関する道内調査の実施を決定。

○9月3日(火) 開議 午後1時24分
散会 午後1時27分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 平成4年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 行財政状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

○9月24日(火) 開議 午前10時41分
散会 午前10時54分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、土地信託事業について報告。

○10月23日(水) 開議 午後2時24分
散会 午後2時35分
第5委員会室
委員長 平井 進(自民)

付託案件の審査

議案第6号

札幌医科大学条例の一部を改正する条例案

(原案可決)

議案第7号

札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第22号

損害賠償請求事件における和解の件 (原案可決)

議案第26号

財産の取得に関する件 (原案可決)

議案第28号

土地の信託に関する件 (原案可決)

一 般 議 事

- ① 人事委員会事務局長から、平成3年職員の給与等に関する報告及び給与改定に関する勧告について説明。
- ② 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ③ 所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

生 活 福 祉 委 員 会

○8月6日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後2時18分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

請願、陳情の審査

請願第10号
白内障治療の眼内レンズ補助に関する件 (保留)

大橋晃委員(共産)から質疑

請願第11号
在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件 (保留)

大橋晃委員(共産)から質疑
藤井猛委員(自民)から要望

請願第13号
国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件 (保留)

一 般 議 事

- 生活福祉事情に関する道内調査の実施を決

定。

本日聴取した請願

白内障治療の眼内レンズ補助に関する件 (請願第10号)

在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件 (請願第11号)

北海道生活と健康を守る会連合会

磯貝俊雄

国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件

(請願第13号)

全国福祉保育労働組合北海道地方本部

齋藤わか

○9月3日(火) 開議 午後1時22分
散会 午後1時27分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- 生活福祉部長から、平成3年度サハリン地域(樺太)墓参実施について報告。

○9月24日(火) 開議 午前10時27分
散会 午前10時58分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- ① 生活福祉事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 生活福祉部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 大橋晃委員(共産)から質疑
重症心身障害児施設について

○10月23日(水) 開議 午後2時20分
散会 午後2時43分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

- ③ 大橋晃委員（共産）から質疑
国民健康保険被保険者証等の交付について

保健環境委員会

○8月6日（火） 開議 午後1時15分
散会 午後1時37分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 保健衛生及び環境保全に関する道内調査の実施を決定。
② 保健環境部長から、泊発電所二号機の間点検状況について報告。
小原葉子委員（社会）及び萩原 信宏委員（共産）から質疑、意見及び要望。

○9月3日（火） 開議 午後1時30分
散会 午後2時33分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 平成4年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
② 保健環境部長から、狩勝高原サホロリゾート開発事業に係る環境影響評価について報告。
③ 保健環境部長から、泊発電所2号機低圧タービンのき裂及び安全協定の見直しについて報告。
④ 保健環境部長から、美々川流域自然環境調査について報告。
⑤ 小原葉子委員（社会）から質疑
ナショナル・トラスト運動について
萩原信宏委員（共産）から質疑
(1) 一般廃棄物処理施設について
(2) 看護婦不足問題について

○9月24日（火） 開議 午前10時15分
散会 午前10時47分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 保健衛生及び環境保全に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
② 保健環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
③ 保健環境部長から、「看護職員需給見直し」の見直しについて報告。
④ 萩原信宏委員（共産）から質疑
屈斜路湖畔のゴルフ場計画について
（関連して、中崎昭一委員（自民）から意見
国立公園内のゴルフ場計画について）

○10月23日（水） 開議 午後1時50分
散会 午後2時10分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 保健衛生及び環境保全に関する道外調査の実施を決定。
② 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
③ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
④ 萩原信宏委員（共産）から質疑
廃バッテリーを使用した鉛再生工場の環境問題について

商工労働観光委員会

○8月6日（火） 開議 午後1時12分
散会 午後1時20分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一般議事

- ① 道内調査の実施を決定。
② 商工労働観光部長から、旭川地域集積促進計画承認申請について報告。

○9月3日（火） 開議 午後1時25分
散会 午後2時3分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一 般 議 事

- ① 冬期雇用安定奨励金および冬期技能講習助成給付金制度の改善充実に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 上田茂委員（自民）から質疑
 - (1) 本道の観光に関する対策協議会開催の内容について
 - (2) 交通機関や、ホテル、バス等の予約が困難な状況と今後の対策について

○9月24日（火） 開議 午前10時20分
散会 午前10時32分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長および企業局長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工労働観光部長から、旭川地域集積促進計画の承認について説明。
- ③ 商工労働観光部長から、北海道高等技術専門学院の再編整備の概要について説明。

○10月23日（水） 開議 午後2時9分
散会 午後2時16分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

付託案件の審査

議案第8号

北海道立工業試験場条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第9号

北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

一 般 議 事

- ① 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ② 商工労働観光部長から、91北海道フェスティバルの計画概要を説明。
- ③ 商工労働観光部長から、北海道ビジネスプラザ開設について報告。

農 政 委 員 会

○8月6日（火） 開議 午後1時32分
散会 午後2時38分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一 般 議 事

- ① 空知及び上川支庁管内の農業事情調査に関する道内調査の実施を決定。
- ② 農政部長から、農作物生育状況について報告。
山崎正隆委員（自民）から質疑、意見及び要望。
- ③ 農政部長から、ホッカイドウ競馬札幌専用場外発売所開設について報告。
神戸典臣委員（自民）から質疑及び意見。
(関連して、石川十四夫委員（道政）から意見及び要望)
- ④ 湯佐利夫委員（自民）から質疑、意見及び要望。
酪農に関するバイオテクノロジー活用の問題について
明田辰義委員（自民）から質疑、意見及び要望。
 - (1) ポスト水田農業確立後期対策に係る転作面積の配分について
 - (2) 馬鈴しょでん粉工場の再編整備について

○9月3日（火） 開議 午後1時33分
散会 午後2時49分
第7委員会室
委員長事故のため
副委員長 土田 弘（社会）

一 般 議 事

- ① 平成4年度農業関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成4年度農業関係国費予算要求の概要について報告。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。
- ④ 農政部長から、ホッカイドウ競馬札幌専用場外発売所開設に係る前回委員会の神戸典臣

委員（自民）の質疑について答弁。

神戸典臣委員（自民）及び石川十四夫委員（道政）から質疑。

（関連して、湯佐利夫委員（自民）及び明田辰義委員（自民）から質疑。）

○9月24日（火） 開議 午前10時31分
散会 午前10時56分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- ① 畑作経営の安定に関する要望意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、ホッカイドウ競馬札幌専用場外発売所開設に係る前回委員会の神戸典臣委員（自民）の質疑について答弁。
神戸典臣委員（自民）及び石川十四夫委員（道政）から質疑。

○10月23日（水） 開議 午後2時8分
散会 午後2時26分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

付託案件の審査

議案第12号

農道離着陸場整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第13号

農業水利施設高度利用事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第14号

防災ダム利活用保全施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第15号

中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第16号

水環境整備に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

一般議事

- ① 空知・上川支庁管内の農業事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

- ② 農業事情に関する道外調査の実施を決定。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ⑤ 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ⑥ 山崎正隆委員（自民）から質疑。
今後の農地流動化対策について

建設委員会

○8月6日（火） 開議 午後1時27分
散会 午後1時40分
第4委員会室
委員長 勝木 省三（自民）

一般議事

- ① 建設事情に関する道内調査の実施を決定。
- ② 石井孝一委員（自民）から質疑。
 - (1) 各事業の概要を説明する詳細な資料の提出について
 - (2) 歩掛り、単価について
 - (3) 事業の執行に伴う予算額と実施額の差額の処理について

○9月3日（火） 開議 午後1時29分
散会 午後1時45分
第4委員長室
委員長 勝木 省三（自民）

一般議事

- 北海道開発関係予算等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

本日聴取した請願

借地借家法案の廃案を求める国への意見書提出に関する件（請願第15号）
借地・借家法改悪反対北海道連絡会 代表

○9月24日（火） 開議 午前10時36分
散会 午前10時59分
第4委員会室
委員長 勝木 省三（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定

例会提出予定案件について説明。

- ② 住宅都市部長から、財団法人北海道住宅協会に係る不祥事について報告。
石井孝一委員（自民）から質疑。

散会 午後1時50分

第2委員会室

委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 平成4年度水産林務関係国費予算及び治山事業の促進に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
② 水産部長及び林務部長から、平成4年度水産林務関係国費予算の概算要求について説明
③ 水産部長から、韓国漁船問題について報告。

○10月23日（水） 開議 午後2時25分
散会 午後2時38分
第4委員会室
委員長 勝木 省三（自民）

付託案件の審査

議案第17号

街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第18号

流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第23号ないし議案第25号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）

請願、陳情の審査

請願第15号

借地借家法案の廃案を求める国への意見書提出に関する件（議決不要）

一般議事

- ① 建設事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

○9月24日（火） 開議 午前10時30分
散会 午前10時41分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
② 水産部長から、韓国漁船問題について報告。
③ 韓国漁船操業問題に関する要望意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。

○10月23日（水） 開議 午後2時25分
散会 午後2時32分
第2委員会室
委員長事故のため
副委員長 野呂 善市（自民）

付託案件の審査

議案第19号

沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第20号

漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第21号

林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

一般議事

- ① 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
② 後志支庁及び渡島支庁管内の水産林務事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

○8月6日（火） 開議 午後1時18分
散会 午後1時25分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 水産部長から、韓国漁船問題について報告。
② 水産部長から、平成3年秋サケ来遊予想とふ化放流事業計画について説明。
③ 道内調査の実施を決定。

○9月3日（火）
開議 午後1時28分

- ③ 水産部長から、韓国漁船問題について報告。

文 教 委 員 会

○8月6日(火) 開議 午後1時17分
散会 午後1時36分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一 般 議 事

- ① 文教事情に関する道内調査の実施を決定。
② 教育長及び企画管理部長から、北海道高等学校生徒減少期対策懇談会報告について報告。
平出陽子委員(社会)から質疑。

○9月3日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後1時20分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一 般 議 事

- 平成4年度国費予算等に関する中央折衝の概要の報告を了承。

○9月24日(火) 開議 午前10時20分
散会 午前10時35分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一 般 議 事

- ① 文教事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
② 教育長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月7日(月) 開議 午後零時10分
散会 午後零時40分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一 般 議 事

- 教育長から、高等学校学級編制の弾力化について報告。
高橋定敏委員(自民)、川口常人委員(自民)及び中川義雄委員(自民)から質疑及び要望。

○10月23日(水) 開議 午後2時15分
散会 午後2時28分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

付託案件の審査

議案第10号
北海道立学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第27号
財産の取得に関する件 (原案可決)

一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
② 所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
③ 「義務教育費国庫負担法一部適用除外」及び「高等学校の学級編制基準の改善」に関する要望意見案の発議を決定。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 9月24日（火） 開議 午後2時55分
散会 午後4時48分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 企画振興部長から、平成4年度北海道開発関係予算概算要求に関し説明。
 - ② 企画振興部参事監から、新千歳空港24時間運用対策に関し説明。
永井利幸委員（自民）及び大橋晃委員（共産）から質疑。
 - ③ 開発関係予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
 - ④ 地域開発事情調査に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
 - ⑤ 大橋晃委員（共産）から質疑。
リゾート開発問題について

- 10月23日（水） 開議 午後3時55分
散会 午後3時58分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘（自民）
- 道外調査の実施を決定。

石炭対策特別委員会

- 9月24日（火） 開議 午後2時49分
散会 午後2時52分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅（社会）
- ① 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
 - ② 商工観光部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
 - ③ 産炭地域六団体連絡協議会代表者大会及び北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施概要の報告を了承。

- 10月2日（水） 開議 午後2時10分
散会 午後2時26分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅（社会）
- 商工労働観光部長から、産炭地域振興実施計画北海道案について説明。
石川十四夫委員（道政）から質疑

北方領土対策特別委員会

- 9月24日（火） 開議 午後3時
散会 午後3時15分
第3委員会室
委員長 水岡 薫（自民）
- ① 平成4年度北海道開発関係予算等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
 - ② 北方領土の復帰促進等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
 - ③ 領対本部長から、北方領土募参について報告。
 - ④ 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
 - ⑤ 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の開催について説明。
 - ⑥ 領対本部長から、最近のソ連情勢等について説明。
 - ⑦ 平成3年度北方領土返還促進海外使節団の道議会からの派遣について、議長並びに委員長が参加することになった旨報告。

- 10月23日（水） 開議 午後3時5分
散会 午後3時10分
第3委員会室
委員長 水岡 薫（自民）
- ① 他県に対する再決議要請に関する道外調査の実施を決定。
 - ② 領対本部長から、北方四島との交流に関する枠組みの日ソ間合意について報告。

エネルギー問題調査特別委員会

- 9月2日（月） 開議 午後零時51分
散会 午後零時57分

第5委員会室

委員長 中川 義雄（自民）

- ① 土田弘委員（社会）の辞任に伴い、檜林巖委員（社会）が補充選任された旨報告。
- ② 理事に、吉田栄委員（社会）を選出。（土田弘委員（社会）の辞任）。
- ③ 議席の変更を決定（土田弘委員（社会）の委員会所属変更）。
- ④ 商工労働観光部長から、北電泊発電所二号機低圧タービンの検査結果について報告。
- ⑤ 委員会終了後、委員会協議会の開催を決定。

○10月23日（水） 開議 午後2時55分

散会 午後2時57分

第5委員会室

委員長 中川 義雄（自民）

- エネルギー問題調査に関する道外調査の実施を決定。

交通安全対策特別委員会

○9月24日（火） 開議 午後2時46分

散会 午後3時2分

第2委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

- ① 岡本栄太郎委員（社会）、鯉谷忠委員（社会）及び岡本修委員（社会）の辞任に伴い、大平盛雄委員（社会）、大内良一委員（社会）及び柏倉勝雄委員（社会）が補充選任された旨報告。
- ② 理事に、柏倉勝雄（社会）を選出。（鯉谷忠委員（社会）の辞任。）
- ③ 議席を決定。
- ④ 交通安全対策に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ⑤ 交通安全対策に関する道外調査の実施を決定。
- ⑥ 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ⑦ 生活福祉部長から、今後の交通安全運動の取り組みに関し説明。

- ⑧ 警察本部交通部長から、交通事故概況と今後の取り組みに関し説明。

過疎地域振興対策特別委員会

○8月6日（火） 開議 午前11時36分

散会 午後零時10分

第1委員会室

委員長 工藤 万砂美（自民）

- ① 議席を決定。
- ② 本委員会の今後の運営について決定。
- ③ 企画振興部長から、所管事務の概要について説明。
- ④ 地域振興室長から、過疎法、山村法及び離島法の概要、適用状況等について説明。湯佐利夫委員（自民）及び新沼浩委員（自民）から質疑。
- ⑤ 過疎地域の状況等に関する道内調査の実施を決定。

○9月24日（火） 開議 午後4時49分

散会 午後5時2分

第2委員会室

委員長 工藤 万砂美（自民）

- ① 過疎地域の状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 地域振興室長から、過疎地域活性化計画に基づく平成2年度事業実績（道及び市町村）について報告。
- ③ 過疎地域の状況に関する道外調査の実施を決定。

道営競馬札幌場外発売

所問題調査特別委員会

○10月23日（水） 開議 午後4時19分

散会 午後5時8分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

正副委員長の互選

- ① 委員長に藤井猛委員（自民）、副委員長に

岡本栄太郎委員（社会）を選出。



藤井 猛委員長



岡本栄太郎副委員長

- ② 理事に久田恭弘委員（自民）、吉川貴盛委員（自民）、大内良一委員（社会）、谷川英雅委員（社会）、工藤啓二委員（公明）及び風早俊男委員（民政）を選出。共産党、道政クラブについては、オブザーバーの扱いとすることを決定。

その他の議事

- ① 本委員会の会議録の作成は、速記法によることを決定。
- ② 委員会の運営に必要な事項については、理事会において協議することを決定。

予算特別委員会

○10月11日（金） 開議 午後1時10分

散会 午後1時20分

第1委員会室

委員長 中川 義雄（自民）

正副委員長の互選

- ① 委員長に中川義雄委員（自民）、副委員長に土田弘委員（社会）を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農務部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

○第1分科会委員（15人）

板谷 実（民政）	上田 茂（自民）
釣部 勲（自民）	乙川 節郎（公明）
三津 丈夫（社会）	吉田 栄（社会）
小山 誠司（社会）	高橋 一史（自民）
伊達 忠一（自民）	島山 博（自民）
西本 美嗣（社会）	菊地 芳郎（社会）
神本 三也（社会）	中川 隆之（自民）
高木 繁光（自民）	

○第2分科会委員（15人）

木村 澄男（道政）	石井 孝一（自民）
加藤 和久（自民）	鯉谷 忠（社会）
小池 昌（社会）	土田 弘（社会）
佐藤 時雄（自民）	野呂 善市（自民）
酒井 芳秀（自民）	綿貫 健輔（自民）
森 敏捷（社会）	大内 良一（社会）

檜林 巖（社会） 工藤 啓二（公明）
平野 明彦（自民）

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることを決定。
- ⑦ 委員外議員の発言の取扱いについては、議員から発言の申し出があった場合、その都度委員会にはかり決定することとし、発言を許可した場合は、委員の通告質疑、質問終了後に発言を許可することを決定。
- ⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑨ 本委員会の運営にあたり、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない党派についても理事会に出席願うことを決定。

第 1 分 科 会

○10月11日（金） 開議 午後1時21分
散会 午後1時31分
第1委員会室
第1分科委員長
伊達 忠一（自民）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に伊達忠一委員（自民）、分科副委員長に小山誠司委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、高橋一史委員（自民）、西本美嗣委員（社会）、乙川

節郎委員（公明）、板谷実委員（民政）を選出。

- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○10月14日（月） 開議 午後1時18分
散会 午後2時56分
第1委員会室
第1分科委員長
伊達 忠一（自民）

○ 生活福祉部所管に対する質疑に入り、

永井 利幸委員（自民）から、

- (1) 生協に対する道の指導に関し、昨年第2回定例会における生協の組合運営に関する指摘事項に対するこれまでの対応状況、全生協に対する調査方法、組合員管理についての指導及び改善状況
- (2) 釧路市民生協に関し、組合員管理についての改善状況、組合員管理台帳を別に作成する理由、組合員数と睡眠組合員の有無、組合員の勧誘問題に対する指導状況及び白糠町における実態、員外利用に対する指導状況と見解、出資金に対する指導及び改善状況、昭和52年の民生部長通知に対する現時点での認識、経営状態及び財政状態、出店に必要な手続、白糠町出店計画を関係機関へ説明した時期、地元への事前説明の有無、地元から釧路市民生協への働きかけの状況、白糠町議会の反対決議の時期、事業活動に対する見解及び指導状況、昭和57年の厚生省社会局長通知に照らした見解、出店計画に対する今後の指導方針等

三津 丈夫委員（社会）から、

- (1) サハリン地域における旧日本兵の遺骨収集問題に関し、サハリン地域の戦没者名簿の整理状況、サハリン地域での本道関係仰留死亡者数、戦没者名簿を活用して身元確認の促進をする考えの有無、遺骨収集の実施状況及び今後の対応
- (2) 有害図書問題に関し、道内における図書類自動販売機の実態及び販売業者の状況、これまでの取り組み状況、有害図書の指定

方法及び審査機関、販売元への立入調査等を実施する考えの有無等について

質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、消費生活課長、保護課長及び青少年婦人室参事から答弁があつて、公安委員会、企業局及び生活福祉部所管に対する質疑を終結。

○10月15日（火） 開議 午前11時3分
散会 午後2時7分
第1委員会室
第1分科委員長
伊達 忠一（自民）

① 保健環境部所管に対する質疑に入り、

清水 誠一委員（自民）から、

(1) ごみの減量化及び再資源化に関し、道内におけるごみの総排出量、資源リサイクル推進室の設置目的と組織及び取り組み状況、市町村における分別収集及び資源リサイクルの取り組み状況、分別収集を行っていない市町村数と道の指導内容、資源リサイクルの周知徹底方法、国のごみ減量化資源化を促進するためのモデル事業の内容と今後の取り組みに対する認識、資源リサイクルの取り組みについての市町村との連携と各支庁の役割及び今後の取り組みに対する考え方

(2) 一般廃棄物の処理施設整備等に関し、道内におけるごみ処理方式の状況、市町村におけるごみ処理施設の整備計画の状況、ごみ処理施設整備に係る市町村の財政負担の実態、全国市長会等の補助単価の要望と地方債や交付税措置の要望に対する認識、ごみ処理施設整備に対する道及び他都府県の補助制度の状況、北海道市町村振興補助金の過去5年間の対象市町村数と対象事業名、保健環境部所管の補助制度創設の考え方、付属施設や環境整備等の補助対象外整備に対する他都府県の補助制度についての見解

(3) 処理施設による環境汚染に関し、今年度以降の整備計画の処理施設の方式、焼却過程で発生する汚染物質に対する認識、焼却不過程とされているごみへの対処方法、焼却以外の中間処理施設の現状、高速堆肥化

処理施設を設置している七市町でのごみの種類と施設の成果、市町村に対する処理方式の情報提供についての考え方、最終処分場における地下水汚染に対する認識等について

質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、衛生施設課長、衛生施設課参事から答弁があつて、保健環境部所管に対する質疑を終結。

② 企画振興部所管に対する質疑に入り、

加藤 和久委員（自民）から、

J R北海道宗谷本線の北線運輸営業所の設置に関し、J R北海道の事業運営の見解、J R北海道の経営状況、経営安定基金の目的や規模、ローカル線区を運営していく債務の考え方、日高線や花咲線に運輸営業所を設置した目的、運輸営業所の設置による輸送サービスの具体例、宗谷本線の名寄以北の運輸営業所の設置の受け止め方、運輸営業所の設置による経営分離の見解、地元の不安に対する受け止め方、運輸営業所の設置による輸送サービスの改善の見解、地域のサービス向上に努めるべくJ R北海道に申し入れる見解、J R北海道に対する指導等

乙川 節郎委員（公明）から、

ゴルフ場の開発規制の問題に関し、ゴルフ場の現況、要綱に基づく事前協議件数、規制地域に該当する市町村数、例外規定による事前協議件数、事前協議書の提出手続のあり方、要綱の規定の表現を明確にする見解、事務処理要領の事前協議の時点の解釈、総量規制を採用した理由、総量規制を定めた基準、要綱に対する評価、総量規制の改正の考えの有無、要綱の見直しの考えの有無、事務処理の検討の考え方、検討が要綱の見直しに連動する考え方、要綱の内容の検討の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、交通対策課長及び土地水対策課長から答弁があつて、企画振興部及び人事委員会所管に対する質疑を終結。

○10月16日（水） 開議 午前10時33分
閉会 午前11時9分
第1委員会室
第1分科委員長
伊達 忠一（自民）

- 総務部所管に対する質疑に入り、
風早 俊男委員（民政）から、
- (1) 道職員の週休2日制に関し、国及び地方公共団体の動向、実施に当たっての課題、所用の準備の考え方、道立の施設の休館日と開館時間の現状、完全実施された場合の道立の施設の取り組み方、週休2日制の事前の準備を含めた検討、労使の話し合いと今後の方向
 - (2) 人材確保の問題に関し、勤務環境の整備の基本的考え方、道職員の持ち家率、公宅の入居率と床面積、福利厚生のある方とその方向性、他府県との比較での受けとめ方、職員の持ち家対策の考え、公宅の整備の取り組みの決意等について
- 質疑、意見及び要望があり、総務部長、人事課長及び職員厚生課長から答弁があつて、出納局、監査委員及び総務部所管に対する質疑を終結。

第 2 分 科 会

- 10月11日（金） 開議 午後1時21分
散会 午後1時30分
第2委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に森敏捷委員（社会）、分科副委員長に野呂善市委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明各1名計3名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、佐藤 時雄委員（自民）、小池昌委員（社会）、工藤啓二委員（公明）を選出。なお、道政については、オブザーバーの扱いとすることを決定。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

- 10月14日（月） 開議 午後1時38分
散会 午後4時51分
第2委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

佐藤 時雄委員（自民）から、

河川の役割とサクラマス資源の増大に関し森林等の自然環境及び河川工作物と魚類とのかわりに対する認識、サクラマス漁獲量減少傾向の原因、河川環境悪化防止の取り組み、河川改修に伴う土木部との連絡協議体制、魚道設置状況、魚の遡上に支障のある魚道の状況、魚道管理の主体とその方法、漁業と遊漁との調和、サクラマスのふ化放流状況、スモルト化放流の研究実態と回帰実績、スモルト化放流予算が増えない理由、秋放流のサクラマス稚魚の禁漁の考え方、サクラマス専用のふ化施設整備の考え方、総合的な資源増大対策の指針策定の考え等

綿貫 健輔委員（自民）から、

イカ流し網漁業に関し、北太平洋の公海流し網漁業に関する1989年の国連決議の内容と背景、公海流し網漁業の内外の現状、流し網漁業に関する国連決議に対する我が国の考え方と混獲防止に対する我が国の取り組み及び基本的考え方、公海イカ流し網漁業の経緯と制度、イカ流し網漁業の漁法と規制条件、イカ流し網漁業の漁船承認隻数・乗組員数及び水揚げ状況、イカ流し網漁船の漁業種類別操業組み合わせと漁業経営における依存度、イカ流し網漁業者の経営状況、アカイカの仕向けと製品生産額、イカの供給状況、米国に対する水産物の輸出入状況、流し網漁業に関する水産庁長官の対米交渉と日米提出国連決議案の見通し及び道の取り組み方等

萩原 信宏議員（共産）から、

- (1) 黒松内町の朱太川のアユ釣り期間の延長に関し、遊漁団体の延長要請に対する認識、北海道内水面漁業調整規則改正の取り組み
- (2) 奥尻島の沖合養殖パイロットファーム実証実験に関し、実証実験の概要、奥尻島で北海道漁業公社が設置した生けすの放置の

経過と撤去の考え方、同公社の養殖事業失敗の要因とパイロットファーム事業取り組みの考え方、漁民の理解を得るための取り組み、経営見通しと道の対応、水産技術普及員の増員

- (3) 網走湖の漁業環境に関し、網走湖の水質保全の重要性の認識、汚染の原因と対策、魚の大量死に伴う緊急環境調査の内容と結果、網走湖の内水面漁業の状況と今後の見通し、女満別川上流におけるゴルフ場建設計画に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長、水産部技監、漁業管理課長、同課参事、栽培漁業課長及び水産経営課長から答弁があって、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

大橋 見議員（共産）から、

- (1) 林地開発に関し、平成2年度及び3年度の林地開発許可状況とそのうち造林補助金を受けたものの状況及び補助金返還事例数、補助金を受けた森林の転用に対する認識
- (2) 鶴居村のロイヤルスペンサーカントリークラブ鉦路コース開発に関し、当該ゴルフ場の林地開発の申請及び許可状況、林地開発の申請者の役員変更の届け出
- (3) 木材の高次加工に関し、道の研究取り組み状況、集成材の利用状況、旭川農業高校体育館での集成材使用結果の評価、今後の集成材活用方針
- (4) 道産材の需要拡大に関し、新千歳空港ターミナルビルへの道産カラマツ材使用の要請状況と内装などでの活用状況、公共施設のカラマツ材利用拡大への今後の取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長、森林整備課長、林産振興課長及び治山課長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○10月15日（火） 開議 午前10時41分
散会 午後4時49分
第2委員会室
第2分科委員長

森 敏捷（社会）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

加藤 和久委員（自民）から、

高速道路に関し、整備の遅れに対する認識と今後の取組姿勢、暫定2車線施工の内容、暫定2車線施工の背景と4車線化の見通し、暫定2車線区間の交通安全対策、安全対策に関する3機関の調査項目と内容、他機関との整合性への対応、道における担当窓口、調査結果の安全対策への反映方法、施行命令が出されている鷹栖和寒間の未着工と調査結果の関連、基本計画区間から整備計画区間への格上げ等今後の取り組みへの決意等

萩原 信宏議員（共産）から、

- (1) 道路駐車公園の整備に関し、トイレを備えた駐車公園の整備に対する認識、道道における整備状況、国道沿いの整備について開発局に対する要請の必要性、第五次交通安全施設等整備事業五箇年計画における取り組み
- (2) 北海道横断道根室線に関し、千歳夕張間の環境アセスメントの内容、栗山町滝下地区の実験林通過の有無、国蝶オオムラサキ等保護についての働きかけの必要性、自然に優しい北海道づくりを土木事業に生かすことについての見解等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長及び道路課長から答弁があって、土木部及び取用委員会所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏議員（共産）から、

- (1) 道営住宅の空家対策に関し、管理戸数と空家の状況、空家が多い原因と入居率向上対策、政策空家の内容、一種から二種への切り替えの可能性、制度改正について国へ対する申し入れの考えの有無
- (2) 高齢者向け公営住宅に関し、建設状況、設計指針策定状況、バリアフリー住宅を公営住宅の設計指針に取り入れる考え、シルバーハウジング・プロジェクトに対する道の支援の必要性
- (3) 歴史的町並み保存対策に関し、これまでの取り組み、歴史的建造物群保全活用に対する道の財政援助拡充についての考え、函館市旧茶屋邸保存のため所有者への協力要請についての見解

(4) ゴルフ場の開発に関し、早来町の株式会社オークウッドゴルフ場の開発許可の申請と許可の状況、法人名及び役員の変更の経緯、変更内容とそれに対する道の判断、開発許可の見直しの必要性についての見解等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長、都市整備課長及び住宅課長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 農政部所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

ホッカイドウ競馬札幌場外発売所問題に関し、昭和61年5月の道営競馬運営改善方策の策定から平成元年2月の道地方競馬運営委員会への諮問に至るまでの経過、諮問の際の経過報告、公営競技連絡協議会の開催と議会との連携、昭和61年度の札幌市内候補地選定の状況と南6条西5丁目の候補地の選定期、候補地選定を進める際の知事の承認、平成元年2月の諮問から同年10月の開設基本方針策定に至る折衝経緯、基本方針策定時の薄野地区の候補地数と所在地、それらの候補地に絞り込んだ経緯、基本方針策定後平成2年1月の開設計画案策定までの経緯、南6条西5丁目開設を前提とした開設計画案策定、開設へ向けての推進体制と議会对応、諮問から答申までの時期の地権者側との折衝内容、南6条西5丁目開設を前提とした答申前の作業状況等について

質疑があり、農政部長から答弁。

○10月16日（水） 開議 午後1時50分
散会 午後5時24分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

○ 農政部所管に対する質疑を続行、
農政部長から答弁の後、

小野寺 勇委員（自民）の質疑の続行、

ホッカイドウ競馬札幌場外発売所問題に関し、道地方競馬運営委員会に対する諮問、南6条西5丁目の土地に係る根抵当権の抹消等について質疑の後、根抵当権抹消に係る打ち合わせ出席者の参考人出席の措置要求。

小野寺勇委員の措置要求について、本委員会

委員長に申し出ること異議なく決定。

○10月17日（木） 開議 午後5時8分
散会 午後5時9分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

○ 農政部所管に対する質疑を続行、
18日に引き続き質疑を行うことに異議なく決定。

○10月18日（金） 開議 午後5時57分
散会 午後5時58分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

○ 農政部所管に対する質疑を続行、
19日に引き続き質疑を行うことに異議なく決定。

○10月19日（土） 開議 午後9時36分
散会 午後9時37分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

○ 農政部所管に対する質疑を続行、
22日に引き続き質疑を行うことに異議なく決定。

○10月22日（火） 開議 午後9時32分
散会 午後9時34分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

○ 農政部所管に対する質疑を続行、
本委員会委員長に申し出た結果について報告の後、23日に引き続き質疑を行うことに異議なく決定。

○10月23日（水） 開議 午前10時43分
閉会 午後零時3分
第1委員会室
第2分科委員長
森 敏捷（社会）

- ① 農政部所管に対する質疑の続行、
大橋 見議員（共産）から、
- (1) 鶴川カントリークラブに係る農地転用に
関し、当該用地の農業振興地域の指定と公
共投資の状況、富士銀行不正融資関連会社
の役員が事業主体の役員となっていること
に対する把握状況と認識、そのような企業
の各地の農地転用に対する考え方、知事の
ゴルフ場開発規制の考え方に対する受け止
め方、当該ゴルフ場開発にからむ元道幹部
職員の関与
- (2) 酪農ヘルパー制度に関し、道内の実施状
況、人材養成の取り組み状況、人件費補助
導入の考え
- (3) ぬれ子及び老廃牛の価格下落問題に関し
価格下落と農家経済の減収状況、減収の組
勘清算への影響と道の対策等について
質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁があ
って、農政部、商工労働観光部及び地方労働委員会所管
に対する質疑を終結。
- ② 教育委員会所管に対する質疑に入り
大橋 見議員（共産）から、
- (1) 埋蔵文化財に関し、文化財保護について
の基本的考え方、文化財保護と開発行為規
制の考え方、千歳市及び苫小牧市における
埋蔵文化財及び史跡の状況、千歳川放水路
事業計画予定地の埋蔵文化財の状況、埋蔵
文化財の確認調査の実施状況、千歳市教育
委員会による調査概要、史跡発見の場合の
千歳川放水路計画への影響、苫東開発にお
ける史跡発見と計画変更の経過、確認調査
実施の考え、関係機関による協議等の必要
性
- (2) 国指定天然記念物ウスバキチョウに関し
指定の経過、密採の実態、生息状況、監視
体制強化等の考え等について
質疑、意見及び要望があり、教育長、生涯学習部長、
文化課長及び文化課参事から答弁があって、教育委員
会所管に対する質疑を終結。
- ③ 付託案件に対する分科委員長報告について
は、分科委員長に一任することを決定。

- 10月23日（水） 開議 午後1時9分
閉会 午後1時46分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）
- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会におけ
る審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、
大橋 見議員（共産）から、
農地転用問題に関し、農地のゴルフ場への
転用についての考え方、優良農地確保とゴル
フ場開発、許認可そのものによる歯止めの考
え、現職監査委員のゴルフ場開発関与の適否、
事実確認の調査方法、関係者に対する調査の
有無、元幹部職員の企業活動に対する評価、
公益法人と民間企業の役員を兼ねることの適
否、財団法人北海道勤労者信用基金協会が北
海道職員の再就職に関する取扱要領対象団体
か否か、要領見直しの必要性、要領からみた
公益法人と民間企業の役員を兼ねることの適
否等について
質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があ
って、総括質疑を終結。
- ③ 付託案件に対する意見の調整は、各会派代
表者会議において行うことを決定。
- ④ 各派代表者会議における意見調整の結果、
意見の一致をみた旨報告の後、議案第1号な
いし第5号及び第11号を一括問題とし、原案
のとおり可決することを決定。
- ⑤ 付託案件に対する委員長報告について、委
員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり
あいさつがあって閉会。

企業会計決算特別委員会

- 7月18日（木） 開議 午後2時19分
散会 午後2時29分
第2委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

正副委員長の互選

- ① 委員長に、中川義雄委員（自民）副委員長に、長沢徹委員（社会）を選出。
- ② 理事に、小野寺勇委員（自民）、神戸典臣委員（自民）、佐々木隆博委員（社会）、岩井正明委員（社会）、乙川節郎委員（公明）、板谷実委員（民政）を選出。
道政クラブはオブザーバーの扱いとすることを決定。
- ③ 委員会の申し合せ事項についてはかり、異議なく決定。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員の割り当てのない諸派の議員から委員外議員発言の申し出があった場合には、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことを決定。
- ⑤ 本委員会の運営方法及び審査日程については、理事会において協議の上、次回委員会で決定することとした。

- 7月24日（水） 開議 午後3時51分
散会 午後4時
第5委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

- ① 議席を決定。
- ② 保健環境部長、住宅都市部長、林務部長及び公営企業管理者から各事業会計決算の概要並びに代表監査委員から各事業会計決算に対する審査意見について説明。
- ③ 決算審査のため必要な資料を、8月5日までに提出することを決定。
- ④ 審査の日程及び現地視察の実施を決定。
- ⑤ 決算書面審査会の実施及び書面審査の方法を決定。
- ⑥ 報告第26号ないし第31号の閉会中継統審査を決定。

- 8月27日（火） 開議 午前10時31分
散会 午後5時8分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

- ① 委員長から、7月24日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨報告。
- ② 委員長から、さきを実施した企業会計決算に係る現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 報告第27号（平成2年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、

○ 林務部所管に対する質疑に入り、 久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 道有林経営の基本的考え方に関し、経営改善に対する姿勢と今後の取り組み方針
- (2) 平成2年度の一般会計からの補助金に関し、補助金の受け入れ状況と充当先、職員給与費に対する補助、事業費に対する補助の積算根拠と緑豊かな山づくり事業との関係、補助金と事業量との関係、対前年事業実績の減少理由、全国育樹祭等の行事に係る旅費等の経費、平成2年度道有林野事業会計決算取支の状況、同会計にむける純利益計上の要因、純利益が生じた場合の一般会計からの補助金、有形固定資産評価の方法と根拠、同資産の再評価の考えと国有林の場合の取り扱い及び再評価の純利益への影響、同資産の再評価について国と協議した経緯と今後の対処方針、分取造林の契約先と契約内容、分取林の実態把握と今後の対処方針、資産貸付料及び使用料・公宅貸付料並びに固定資産売却益の内容、貸付料・使用料等改定の取り組み方針、固定資産明細書で土地・林野・林道設備が減少している理由
（関連して、吉川貴盛委員（自民）から、植樹祭及び育樹祭の担当課、担当課以外の課の職員が植樹祭に参加した理由と経営事務打合せの内容、復命書の復命内容の改善、出張命令の用務と復命内容との不一致、出張の必要性等）
- (3) 道有林野経営改善計画に関し、策定状況と一般会計補助金要求の根拠、策定の期限改善方針の内容とその道有林基本計画への

反映、策定中の同基本計画と既定計画との事業量等の違い、将来の収入増を図るための森林施業方法、増収の取り組み、販売方法の改善、処分可能な資産の状況、道路用地と道民の森の取り扱い、高性能機械導入等によるコスト低減と基盤整備の取り組み、企業債借り入れ条件緩和の取り組み、経営体制整備や業務改善の取り組み、道有林の使命を果たす取り組みの決意等

木村 澄男委員（道政） から、

道有林野の経営改善に関し、販売収入のみで経営改善を図ることの困難性の認識、OA化の現状と今後の取り組み、林務署の機能合理化の効果等

大橋 見議員（共産） から、

道有林野の貸し付けとウラウス・リゾート開発に関し、平成2年度の道有林野貸付状況収益分収方式の導入検討状況、ウラウス・リゾート開発公社との貸付契約の内容と事前協議申請書の内容、環境アセスメント条例に基づく環境影響評価書の提出と契約条件との関係、同契約における指定用途等の変更の申し出、道有林野の事業用資産の考え方、事業外資産として貸し付けた理由、道有林野の貸付契約の相手方についての認識、貸付契約に伴う契約保証金の徴収、道有林貸付申請書に添付の預金残高証明書に対する認識と内容の把握、同公社の資金計画、ウラウス・リゾート開発事業地鎮祭への出席者、同公社に対する道有林貸し付けの再検討等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長、道有林管理室長、経営課長及び経理課長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月28日（水） 開議 午前10時46分
散会 午後3時38分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

○ 報告第26号（平成2年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、

○ 保健環境部所管に対する質疑に入り、

神戸 典臣委員（自民） から、

道立病院の経営の健全化と再編整備に関し、経営の基本原則に対する認識、経済性の

側面から見た経営状態、経営改善の成果に対する認識、単年度欠損金が増えた理由、医業収益が伸び悩んだ原因、医薬材料費が大幅に増えた理由、医薬材料費節約のための経営努力の内容、一般会計負担金の内容、入院患者が増えない理由と他の公立病院及び他府県との比較、経営健全化計画の実施状況、寿都、静内両病院の移管進捗状況、札幌北野病院移譲の取り組み状況、札幌北野病院を移譲ではなく廃止することについての見解、経営健全化計画の見直しについての基本的考え方、見直しの作業期間と成案作成時期、札幌圏域における結核患者の過去十か年の新規登録患者数、苫小牧病院の改築に対する考え方、江差、紋別両病院への人工透析装置の設置状況、道立病院事業の経営の健全化についての決意等

乙川 節郎委員（公明） から、

道立病院の経営に関し、医薬分業の現状と今後の取り組み、医療機器の整備状況、高額医療機器の整備状況と利用状況、薬品費節減のための努力、部局契約と本庁一括契約における薬価に対する購入価の割合、薬品購入額に占める本庁一括契約購入額の割合、治験薬の受け入れ状況と収益の有無並びに他臨床試験実施病院との比較、人工透析の設置状況と利用実績、江差、紋別両病院の医療圏域における人工透析患者の状況と人工透析装置の設置に対する考え方、夕食時間の改善に対する取り組み状況等

木村 澄男委員（道政） から、

道立病院の再編整備と経営健全化に関し、再編整備と経営健全化方策の進捗状況、経営改善への取り組み、経営改善の効果、医師確保の取り組み状況、寿都、静内両病院の移管進捗状況、寿都町における住民からの道立寿都病院の町移管に反対する請願についての取り組み、静内町の移管に係る十項目の要望内容、電算化についての取り組み状況、緑ヶ丘病院の病棟ごとの病床利用率、緑ヶ丘病院のあり方に対する見解、精神科訪問看護指導の実施要件と実施状況、医療法による看護婦の標準数より現在の定数が多い理由、精神病院とリハビリテーションセンターの指導の違い

いと患者区分の基準、音更リハビリテーションセンターの利用状況と社会復帰の状況、向陽ヶ丘病院と紋別病院の社会復帰施設の整備に対する考え方等

萩原 信宏議員（共産）から、

道立病院の運営に関し、病院会計準則による経理処理についての見解、国庫補助金と一般会計負担金の受け入れ状況、補助制度改善を国に対して働きかける考えの有無、紋別病院の医療機能の充実整備と医師の固定化に対する見解、松前病院の町移管に要した経費と今後要する経費、松前病院を町移管した経緯、寿都病院の町移管について町民の反対の意思表示に対する受け止め、寿都病院百二十年祭りについての見解、累積欠損金についての認識、保健所の医療監視により指導を受けた内容、監視指導する立場と監視を受ける立場についての認識、医師確保のための医大との結びつき、札幌医大、北大、旭川医大における医療対策協議会の設置状況、成人病検診等の地域活動に対する認識、医療機器の整備状況、職員の経営意識高揚と質的向上の取り組み状況等について

質疑、意見及び要望があり、保健環境部長及び道立病院管理室長から答弁があって、保健環境部所管に対する質疑を終結。

○ 8月29日（木） 開議 午前10時25分
散会 午後3時36分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

○ 報告第29号（平成2年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第30号（平成2年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）及び報告第31号（平成2年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、

○ 企業局所管に対する質疑に入り、

高橋 定敏委員（自民）から、

(1) 企業局経営の3事業に関し、地方公営企業法の経営方針のとおり適切に運営されているという認識に関する見解及び工業用水道並びに工業団地開発事業の他会計への移管を含めた基本的な認識の受けとめ方、3

事業の道民へのサービス提供や福祉の増進との関連

(2) 電気事業の剰余金の処分に関し、未処分利益剰余金の額及び道民の福祉増進に寄与できる事業等への出資又は積立などに対する考え方及び剰余金処分の基本的な考え方、剰余金を事業外に流出することについての通産省及び自治省等の見解と具体的な指導監督の実態、全国の公営企業で剰余金を事業外で使用している現状と本道における地域還元の実施に関する考え方と決意

(3) 電気事業における料金に関し、公営企業法上の公正妥当性、他府県との比較、減価償却が終了し適正な利潤確保の立場上、電気料金が適正かどうか、売電価格引き上げの考え方と検討の結果

(4) 電気事業全体の経営状況に関し、前3年の比較、滝下発電所の事業の進捗状況及び滝下以後の水力発電所開発の見通しとその見解

(5) 工業用水道事業に関し、各施設の契約水量の推移と対前年比、施設別の給水能力の差異の現状と未売水の実態及び今後の需要見通しと見解、新日鉄及び日本軽金属などの契約水量減量要求の内容と対応策並びに平成2年度の状況、経営体質の改善に関する方策の検討とその結果

(6) 工業団地開発事業に関し、現在保有している用地の数量と金額、平成2年度中に売却した用地の内訳、未回収額及び今後の処分計画と見通し、今後の経営の全理化、能率化に関する改善努力、環境変化への対応策、新事業の展開や積極的な取り組み姿勢などに対する所見等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁。

永井 利幸委員（自民）から、

(1) 北海道公営企業に関し、条例の趣旨及び企業経営に関する所見、管理者の事務の分掌、経営理念、当面する課題と具体的な対応策、減価償却費の性格

(2) 苫小牧東部工業基地に関し、損益計算書の内容、営業費用の内容及び用地売却益9億4千3百万円の費目別の内訳、帳簿原価

の確認と損益計算書及び貸借対照表の内容の確認並びに違算の指摘と決算書の意義等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁。なお、一部の質問に対する答弁準備に時間を要するため散会。

○ 8月30日（金） 開議 午前11時12分
散会 午後2時21分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

○ 報告第29号（平成2年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第30号（平成2年度北海道工業用水事業会計決算に関する件）及び報告第31号（平成年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、

○ 企業局所管に対する質疑の続行、公営企業管理者から昨日の永井利幸委員（自民）の質問に対し答弁。昨日に引続き、

永井 利幸委員（自民）の質疑の続行、

- (1) 苫小牧東部工業基地に関し、損益計算書の損益が明確となる参考資料を添付することの意思の確認及び企業会計原則を尊重した経理の処理
- (2) 苫東工業用水に関し、日量25万トンの用水計画と分譲、企業誘致、工業用水を必要としない企業の誘致の可能性についての知事の真意の考え方
- (3) 苫東工業団地の売却計画に関し、苫東会社等への売却の具体的な年度別の内訳と売却計画決定の時期、平成3年度以降の苫東用地の譲渡見通しに関する苫東会社等との協議の結果、苫東工業用地譲渡にかかわる合意事項に関する苫東会社の発言内容とその対応策及び苫東工業基地の開発推進の内容の説明
- (4) 苫東工業基地開発第三段階計画としてのゴルフ場の建設計画に関し、規制する立場と推進する立場の二面性についての考え方
- (5) 苫東住宅団地に関し、住宅団地地区有効活用基本構想の策定までの経緯及び具体的内容と具体化した事業の実態、早来町、鶴川町の計画等、苫東関連住宅団地用地開発

プラン（厚真地区）と売買契約の一部変更及び変更理由の企業立地の長期化や技術革新に伴う省力化、立地企業や就業者の住居に対する要請等の具体的内容、多機能複合型の市街地開発の具体的内容とフォーラムパーク厚真計画の経過と現状、契約第5条の特例に関して事業が実施されなかった場合の違約金の徴収と用地の扱い、事業主体が自治体や第三セクターまたはその他のプロジェクト等の場合の扱い、

(6) 工業用水道事業に関し、室蘭地区、苫小牧第一、第二及び苫東工業用水の各給水能力の差異に拘わらず均一単価を算出した理由等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁。なお、一部の質問に対する答弁準備に時間を要するため散会。

○ 9月27日（金） 開議 午前10時16分
閉会 午後4時16分
第1委員会室
委員長 中川 義雄（自民）

① 報告第29号（平成2年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第30号（平成2年度北海道工業用水事業会計決算に関する件）及び報告第31号（平成2年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、8月30日に引き続き、

○ 企業局所管に対する質疑の続行、

永井 利幸委員（自民）の質疑の続行、

- (1) 室蘭、苫小牧地区の工業用水事業に関し、平成3年3月31日現在の原価調の実態と事業経営の今後の改善策
- (2) 平成2年度の事業会計施設別損益計算書に関し、苫小牧第一、第二及び室蘭の各給水施設別の営業収益と営業費用並びに営業外費用の内容と意図的な費用操作の有無
- (3) 各施設別の給水量及び料金に関し、給水中止の申し出及び新規申込みの状況
- (4) 室蘭地の新日本製鉄並びに苫小牧地区の日本軽金属からの減量要請の申し出に関し、給水量と年間料金及び減量数と料金、両社の減量要請の実需給量の具体的内容と責任水量制の原則及び企業の責めによらな

い場合の明確な 具体の理由並びに 企業倫理

- (5) 工業用水道事業経営状況と健全化努力に関し、料金よりも給水原価や供給単価が高い理由
- (6) 苫小牧東部地区第一工業用水に関し、沙流川総合開発（二風谷、平取ダム）事業費に対する道の負担額、事業進捗率35%に対して約60%の負担をしている理由と今後増額が予想される事業費と道の負担額の見込み及び平成7年に給水が開始される場合の給水量、給水先、給水原価並びに給水料金、給水の時期及びその変更の有無と開始後の収支の見込み、2年目以降の赤字に対する資金不足の補てんの方法、室蘭、苫小牧第一及び第二工業用水の全体事業費及び妥当投資額積算計算式の内容、苫東工水の妥当投資額と建設費との関係においては過大投資となる恐れ、各施設の全体事業費と給水能力及びトン当事業費、苫東工水は異常な状況とは言えないのか、赤字経営にはならないのか、事業費の返済と累積赤字の返還資金対策の具体的方法
- (7) 料金の平準化に関し、給水料金を同一地域内で平準化することについての考え
- (8) 苫東開発の新会社によるゴルフ場の経営に関し、ゴルフ場の建設運営と開発規制の立場についての企業局の見解等

小野寺 勇委員（自民）から、

苫小牧東部の団地会計に関し、閉鎖が予想される平成5年度の会計の収支見込みと残地の実態、公共保留用地の年次別の売払状況と決算年度における処分の内訳、公共保留用地の売払と赤字補てんの実態及び会計維持等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局長及び担当課長から答弁。

○ **住宅都市部所管に対する質疑**に入り、

伊藤 条一委員（自民）から、

- (1) 企業会計の閉鎖に関し、事務引継ぎの処理方法、基本計画面積と最終全体計画面積とに差が生じた理由、当初の土地利用計画と処分実績が異なる理由、道路・公園緑地・公益施設の整備計画に対する実績、その

他の施設用地に予定していた施設内容、未処分宅地の面積及び引継ぎ時の帳簿価格並びに処分方針及び分譲価格、一般会計に引継ぎをした債券・債務・資産の内容と金額及び整理方法、債券・債務・資産の計算根拠、建物割賦金及び土地延納金の滞納金の有無、広島町との負担協定に基づく負担金の処理及び負担金支払いの経緯、長期北海道貸付金の これまでの対応 及び 今後の方針、事業会計閉鎖に係る広島町との協議内容、一般会計引継ぎ時の決算収支、会計閉鎖後の維持補修等の対応方針並びに一般会計による負担に対する考え方、一般会計引継ぎ後の業務執行体制、第四の道営団地開発の考え方

- (2) 北広島団地の地域暖房に関し、北広島熱供給株式会社の経営実態及び将来展望についての認識、会社設立の経緯、新会社の出資者と出資金及び平成2年度までの経営収支並びに平成2年度末の累積欠損金、昭和61年度以降の 剰余金の 要因と 今後の見通し、営業収支と営業外収支の内訳、熱供給計画に対する実績及び低下の要因、熱ロスに関する道の指導状況、熱供給施設の老朽化への対処、定額制の料金を採用している理由、従量制による問題点、道内の他の地域暖房会社の料金体系及び北広島団地との料金比較、各社の経営状況、道内で従量制を採用できない理由、北広島団地地域暖房検討委員会の報告内容及びこれに対する受け止め、料金改定等課題解決の取り組み方針、地域暖房システム導入等に係る取り組み状況等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長及び総務課長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する意見の調整は、各会派代表者会議において行うことを決定。
- ③ 報告第26号ないし第31号を一括議題とし、委員長から各会派代表者会議における意見調整の結果、意見の一致を見たことを報告の後、報告第26号、第27号及び第31号については、意見を付し認定議決、報告第28号ないし第30号については、認定議決とすることを

かり、異議なく決定。

- ④ 委員長から、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することをはかり異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件に対する審議終了のあいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

○10月31日（木） 三重県磯部町において、第98

回定例総会を開催。

自治功労者表彰

（議員58名、うち北海道1名）

国民体育大会開催県議長あいさつ

（第46回国体開催地石川県議長並びに次回開催地山形県議長）

次いで、下記事項について協議、いずれも原案のとおり決定又は了承。

1. 会務及び会計報告（全議事務総長）

2. 会計監査報告（愛知県議長）

3. 議案審議

4. 次回開催地を島根県に決定

（決議）

地方行財政の充実強化に関する決議

多極分散型国土の形成促進に関する決議

高齢者保険福祉対策の推進に関する決議

農業基本政策の強化に関する決議

北方領土の早期返還に関する決議

1998年第18回オリンピック冬季競技大会の

長野開催支援に関する決議

（要望意見）

○地方制度委員会関係

1 地方行財政の充実強化について

2 相続税の負担軽減について

3 地域改善対策の推進について

4 青少年の健全育成対策について

5 警察基盤の充実強化について

6 北方領土問題等の解決促進について

7 竹島の領土権の確立と漁業の安全操業の確保について

8 日朝国交正常化の実現について

○社会文教委員会関係

1 高齢者保健福祉対策の充実について

2 障害者福祉対策の拡充強化について

3 看護婦等の確保対策について

4 自治体病院等の経営健全化対策について

5 子育て環境の整備について

6 国民健康保険制度の安定化促進について

7 アトピー性皮膚炎対策の確立について

8 造血機能障害者対策の充実について

9 食品の安全性の確保について

10 廃棄物処理対策の推進について

11 環境保全対策の推進について

12 義務教育等における教育条件の確保について

13 私立高等学校に対する生徒急減対策について

14 国立博物館の設置について

○商工労働委員会関係

1 中小企業振興対策について

2 電源地域振興のための総合的施策の確立について

3 原子力施設に係る安全対策等の充実強化について

4 産炭地域振興対策の充実強化について

5 雇用対策の推進について

6 労働時間の短縮等について

○建設運輸委員会関係

1 道路整備の促進について

2 下水道整備の促進について

3 治水関係事業の促進について

4 多極分散型国土の形成促進について

5 特定地域振興対策の推進について

6 震災及び火山災害対策について

7 新幹線鉄道等の整備促進について

8 第三セクター鉄道会社等に対する助成措置等について

9 空港の整備促進等について

10 港湾整備事業の推進について

11 情報通信基盤整備の推進について

○農林水産委員会関係

1 農業基本政策の強化について

2 水田農業確立対策について

3 農産物市場開放対策について

4 バイテク農業の開発促進について

5 森林・林業の活性化について

6 治山事業の推進について

7 漁業振興対策について

8 漁業外交の充実強化について

10都道府県議会議長会（第164回）

○9月3日（火） 神戸市において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告（福岡県）
2. 議案審議
3. 次回開催地を静岡県に決定。
4. その他
（全議事務総長から、「平成4年度の概算要求」等について説明。）

（議案）

- 1 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興について（北海道提出）
- 2 白内障人工水晶体（眼内レンズ）等の保険適用について（東京都提出）
- 3 日系人子女に対する教育の充実について（神奈川県提出）
- 4 火山噴火対策の充実強化について（静岡県提出）
- 5 「麻薬新条約」の早期批准について（愛知県提出）
- 6 緑の保全と創出について（京都府提出）
- 7 児童手当制度の抜本的改善について（大阪府提出）
- 8 治山事業の促進について（広島県提出）
- 9 石炭対策・産炭地域振興対策の強化について（福岡県提出）
- 10 情報通信基盤整備の促進について（兵庫県提出）

北海道・東北6県議会議長会（第81回）

○9月6日（金） 福島市において開催。

下記の事項について、協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告（宮城県）
2. 議案審議
3. 議決事項の処理方法について
4. 次回開催地を岩手県に決定
（議案）

○地方制度委員会（議案説明・道県）

- 1 地方財政対策の強化について（岩手県）
- 2 公共投資基本計画に基づく事業の北海道・東北地方への重点配分について（岩手県）
- 3 ふるさと創生関連事業について（秋田県）

- 4 北方領土問題等の解決促進について（北海道）
- 5 警察官の増員について（福島県）
- 6 新離島振興法（仮称）制定について（宮城県）

○社会文教委員会

- 7 産業廃棄物の処理対策について（秋田県）
- 8 高齢化対策の推進について（宮城県）

○商工労働委員会

- 9 電源地域振興のための総合的施策の確立について（福島県）
- 10 原子力施設に係る安全対策等の充実強化について（福島県）
- 11 中小小売業商業振興対策の充実強化について（宮城県）
- 12 大規模小売店舗審議会における地元意見の反映について（青森県）
- 13 ソ連極東地区へのジェトロ事務所の開設について（秋田県）
- 14 道県職業訓練短期大学の設置について（山形県）

○建設運輸委員会

- 15 新幹線鉄道の建設促進等について（青森県）
- 16 高速自動車道等の建設促進について（山形県）
- 17 第三セクター鉄道等への支援措置について（岩手県）
- 18 地方空港の整備と国際化について（宮城県）
- 19 東北インテリジェント・コスモス構想の推進について（宮城県）
- 20 青函インターブロック交流圏計画の推進について（青森県）
- 21 総合保養地域に係る公共基盤施設の整備促進について（青森県）
- 22 第8次治山・治水事業五箇年計画等の策定及び国土保全並びに水資源開発の推進について（宮城県）

○農林水産委員会

- 23 農畜産物市場開放問題について（山形県）
- 24 米の輸入自由化問題について（岩手県）
- 25 将来を展望した水田農業の確立について（山形県）
- 26 国際漁業等の安全対策について（宮城県）
- 27 森林整備事業計画の策定について（岩手県）
- 28 松くい虫被害防除対策の推進について（福島県）

北海道議会開設90年記念式典・祝賀会

平成3年10月21日

明治34年に北海道会が開設されてから90年を迎え、北海道議会の役割について決意を新たにすることを目的に、平成3年10月21日、記念式典及び祝賀会を開催した。

記念式典 午後3時から議場において、道選出国會議員、元道議會議員、各界代表など約310名の出席を得て開催。

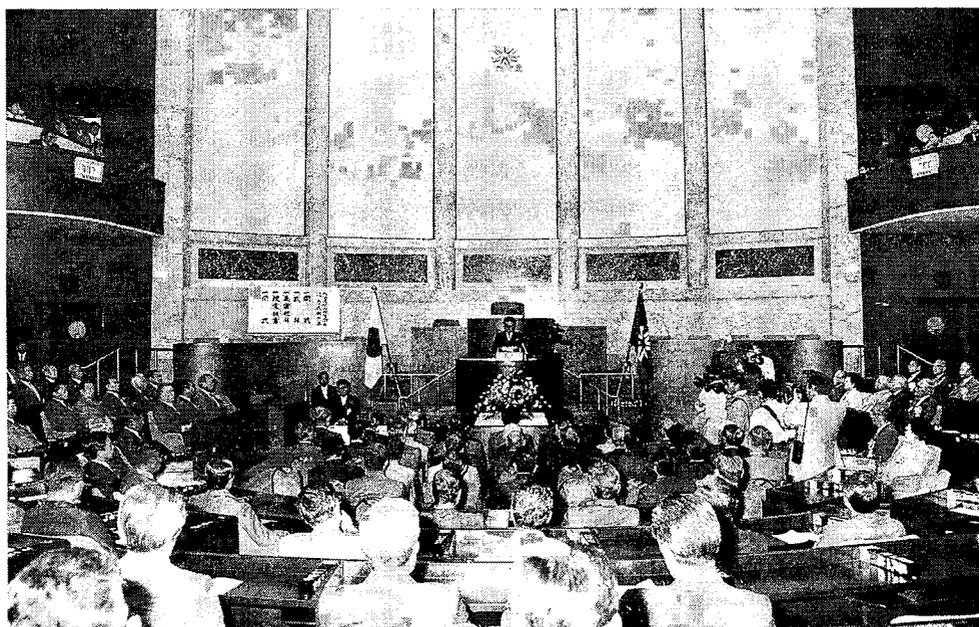
道警音楽隊の演奏で式典を開始し、青木副議長の開式の辞、若狭議長の式辞に続き自治大臣、北海道開発庁長官及び北海道知事から祝辞。

その後、内閣総理大臣からのメッセージ、衆議院議長、参議院議長などからの祝電披露があって、道警音楽隊の演奏の後、副議長が閉式を告げ式典を終了した。

祝賀会 記念式典終了後、会場を札幌グランドホテルに移し、午後4時から約320名の出席を得て開催。

若狭議長の挨拶の後、北海道市長会会長の桂札幌市長が参会者を代表して挨拶し、高橋元道議クラブ会長の発声で乾杯して懇談に入った。

懇談は、日本音楽家ユニオン北海道地方本部のメンバーによる演奏をBGMに行われ、最後に北海道町村議会議長会副会長の南出石狩町議會議長の音頭で万歳を三唱し祝賀会を終了した。



8 月 の メ モ

- 2日 ○泊原発2号機静翼にも亀裂 北電は中間点検をしていた2号機で、発電機を回す低圧タービンのかなりの枚数の静翼の溶接部に亀裂が見つかったと発表。2号機は4月に営業運転を始めたばかりで同1号機にも亀裂が見つかるトラブルが起きている。
- 6日 ○知事がススキノ場外馬券場開設断念を示唆 知事は道が計画している道営競馬の場外馬券売り場について、記者会見において実質的に断念の意向を示した。
- 8日 ○東北、九州新幹線着工 村岡運輸相は日本鉄道建設公団に、東北新幹線（盛岡—沼宮内、八戸—青森間）と九州新幹線（八代—西鹿兒島間）の建設を指示。
- 13日 ○偽造預金証券で巨額融資 東洋信用金庫を舞台に、元支店長と大阪の料亭経営尾上縫容疑者(61)が、偽造した定期預金証券を担保に日本興業銀行などから3千億円以上もの巨額融資を引き出していたとして大阪地検に逮捕された。
- 19日 ○ソ連でクーデター ソ連のゴルバチョフ大統領が保守派のクーデターで解任され、ヤナーエフ・ソ連副大統領ら8要人からなる「ソ連国家非常事態委員会」を設置。21日には、エリツィン・ロシア共和国大統領らがたてこもるロシア共和国ビルに向け、非常事態委員会指揮下の軍部隊が突入を図り、10数人の死傷者が出たが、クーデター派内部の分裂、改革派市民の反撃などで同委員会が崩壊、クーデターは失敗。
- 23日 ○世界陸上開幕 第3回世界陸上選手権は、史上最多の168の国・地域から1,700余選手が参加し、東京・国立競技場で開会式が行われた。
- 24日 ○ソ連共産党に解散勧告 ゴルバチョフソ連大統領は、共産党書記長辞任を発表するとともに、党中央委員会の解散を勧告。事実上の党解体で、ロシア革命以来

74年間に及ぶソ連共産党による支配は幕を閉じることに。

- 25日 ○ゆり号b、打ち上げに成功 衛星放送継続のカギを握る宇宙開発事業団の放送衛星「BS-3b」が打ち上げに成功。「ゆり号b」と命名。
- 26日 ○ソ連臨時最高会議開幕 クーデター後の国内情勢を討議するソ連臨時最高会議が開かれ、新連邦条約の早期調印や共産党指導部の活動停止など国内情勢正常化策を採択。

- 6日 ○**バルト3国が独立** ソ連の最高政策決定機関として新しく設置された国家評議会が初の会合で、リトアニア、ラトビア、エストニアの3共和国の独立を全会一致で承認した。
- 11日 ○**教師の自殺、公務災害** 昭和59年8月旭川市内で自殺した道立高校教師について、地方公務員災害補償基金道支部審査会は、公務災害と認定。生徒指導と進路指導による精神的負担の訴えによる。
- 17日 ○**韓国漁船問題で知事訪韓** 韓国漁船による本道海域での漁業被害の実態などを訴えるため韓国を訪問。
- 19日 ○**国道274号が全線開通** 国道274号（札幌市一帯広市、延長210キロ）が着工から26年目で全線開通。胆振管内穂別町福山一日高管内日高町日高間（19.8キロ）の完成による。
- 20日 ○**旭川の「頭脳立地構想」承認** 通産省は、情報処理産業などの集積を図る旭川地域集積促進計画を承認。研究開発を行う中核施設のほか企業集積団地造成などを図る。
- 24日 ○**景気、「いざなぎ」超え** 経済企画庁は、月例経済報告閣僚会議に、「日本経済は緩やかに減速しながらも引き続き拡大している」とする9月の報告を提出。昭和61年12月に始まった今回の大型景気は58カ月となり、戦後最長の「いざなぎ景気」を超えたと判断。
- 25日 ●**第3回定例道議会開会**
- 28日 ○**台風19号列島縦断** 台風19号は、大型で強い勢力を保ちながら九州・北日本にかけ各地に大きな被害をもたらし列島を縦断した。死者・行方不明は50名を超える。
- 3日 ○**リニア実験車炎上** 宮崎県日向市の鉄道総合技術研究所の浮上式鉄道宮崎実験センターで、走行実験中にリニアモーターカーが火災を起こし全焼した。山梨新実験線での実験に影響必至。
- 8日 ○**25億ドルの対ソ支援決定** 政府は、ソ連の現状が本格的な改革が期待できるとの考えから、日本輸出入銀行を通じた食料・医薬品の購入、貿易促進のための貿易保険引き受け、輸銀輸出信用供与の総額25億ドルを骨子とする対ソ支援策を決定。
- 9日 ○**シベリア抑留者の遺骨収集開始** 国による初の遺骨収集が、ソ連・チタ州の埋葬地で始まった。同埋葬地には、元日本兵ら56人が埋葬されている。
- 14日 ○**スー・チー女史にノーベル平和賞** ミャンマーの反体制民主化運動指導者アウン・サン・スー・チー女史の1991年度ノーベル平和賞受章が発表された。
- 22日 ○**野菜対策で17年ぶり緊急輸入** 台風と長雨の被害で高騰している野菜価格の安定をはかるため、農水省は、17年ぶりの輸入実施や産地への前倒し出荷要請など緊急対策を決めた。
- 23日 ●**第3回定例道議会閉会**
- 紀子さまが女児ご出産** 秋篠宮妃紀子さまが、皇居内の宮内庁病院で女児を出産。天皇・皇后両陛下にとって初孫で29日に、お名前は「眞子」と決まる。
- カンボジア平和協定調印** カンボジア和平問題パリ国際会議が開かれ、関係19カ国が和平の最終合意文書に調印。ベトナム軍侵攻以来13年に及ぶ紛争に終止符を打った。
- 27日 ○**自民党総裁に宮沢氏** 自民党総裁選挙が行われ、宮沢喜一氏が対立候補の渡辺美智雄氏及び三塚博氏を抑え当選。宮沢氏は29日の臨時党大会で第15代総裁に就任した。
- 28日 ○**西武が連続日本一** 今年のプロ野球日本

シリーズは、西武ライオンズと広島東洋カープが対戦、対戦成績4勝3敗で西武ライオンズが2年連続7度目の日本一に。

29日 ○北方領土ビザなし渡航 政府は北方領土4島への渡航を両政府発行の身分証明書で渡航できる日ソ合意を受け、北方領土入域を認めることを閣議了解した。身分証明書で渡航できる日本人訪問団は、旧島民、領土返還運動関係者、報道機関に限定。

30日 ○中東和平会議開幕 アラブ諸国とイスラエルの和解を目指す第一段階の全体会議がマドリードのスペイン王宮で開幕。主催国米ソのほか当事国のイスラエル、ヨルダン・パレスチナ、シリア、レバノン、欧州共同体及びエジプトの代表が参加。

北海道議会時報 第43巻第4号

平成4年1月7日発行

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第43巻第4号(平成3年第3回定例会)